

文京区地球温暖化対策地域推進計画に基づく実績報告

1. 文京区地球温暖化対策地域推進計画の概要

文京区地球温暖化対策地域推進計画（以下「計画」という。）は、区民・団体、事業者、区のあらゆる主体で取り組み、地域に係る気候変動対策を総合的、計画的に進め、地球温暖化防止に貢献することを目的として、2010（平成 22）年 3 月に策定し、2015（平成 27）年 3 月に計画の中間見直しを行いました。そして、2020（令和 2）年 3 月には、国内外の変化への対応を図り、これまでの計画の進捗状況と課題等を踏まえ、計画の目標や実施していく施策を定めるため改定を行いました。

本計画は、「文京区環境基本計画」の基本目標の 1 つである「未来へつなぐ脱炭素のまち～CO₂削減で地球温暖化防止～」を実現するための施策等を定める個別計画として位置づけます。

計画期間は、国の温室効果ガス排出削減目標の年度を考慮し、2020（令和 2）年度から 2030（令和 12）年度までの 11 年間です。

また、国の「地球温暖化対策実行計画」と整合を図り、削減目標の基準年度は 2013（平成 25）年度、目標年度は 2030（令和 12）年度としています。

また、本計画は令和 7 年 3 月に見直しましたが、今回の実績報告は令和 6 年度の実績となるため、見直し前の計画内容に基づいて評価を行っています。

計画の方向性

目標を区民・団体、事業者、区のあらゆる主体で共有し、文京区の実情に合わせて一体となって取組を進めていきます

将来にわたって持続可能な都市の発展を実現していくために、脱炭素のまちを目指して二酸化炭素排出量の削減に努めます

より安全で快適、賑わいや活気にあふれたまちと暮らしを将来に引き継ぐため、気候変動の影響に適切に対応していきます

クールアース 文京都市ビジョン

エネルギーをかしこく使って
豊かに生きる
脱炭素のまち 文京
～ちいさな一歩で未来へつなぐ～

図 1-1 計画の方向性とクールアース文京都市ビジョン

<文京区地球温暖化対策地域推進計画の方向性とクールアース文京都市ビジョン>



図 1-2 クールアース文京都市ビジョンのイメージ

2. 二酸化炭素削減目標と進捗状況

本計画で定める削減目標は、文京区全体の二酸化炭素排出量の総量を基準年度比で 28%削減することです。これに加えて、区の二酸化炭素排出量に占める割合が大きい民生（家庭）部門と民生（業務）部門について、部門別の目標が設定されています。

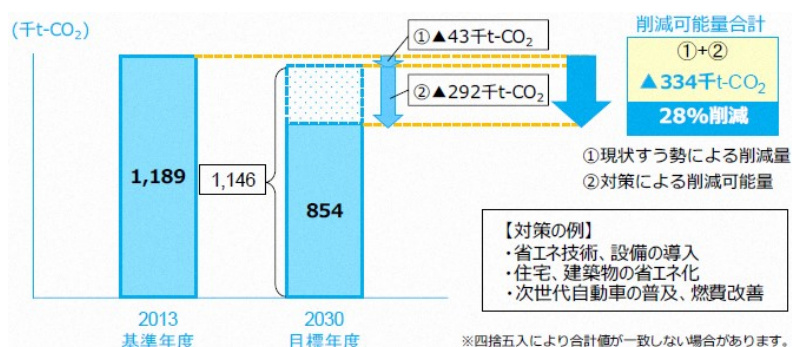


図 2-1 二酸化炭素排出量の削減目標

表 2-1 削減目標

総量目標	2013(平成 25)年度比 削減率	▲28%
部門別目標	民生(家庭)部門 1 世帯当たり	▲794kg-CO ₂ (削減率 ▲28%)
	民生(業務)部門 床面積 100 m ² 当たり	▲3,585kg-CO ₂ (削減率 ▲34%)

2.1 進捗評価方法

<総量目標>

基準年度の二酸化炭素排出量 1,189 千 t-CO₂から、28%削減後の二酸化炭素排出量 854 千 t-CO₂へ目安線を引き、各年度の実績値が目安線より下回っているかを把握します。目安線より下回った場合◎、目安に対してほぼ同等の場合○、目安線を上回った場合は△とします。

<部門別目標>

民生（家庭）部門、民生（業務）部門も同様に基準年度値から目安値への参考線を引き、各年度の実績値が目安線より下回っているかを把握します。目安線より下回った場合◎、おおむね目安線通りの場合○、目安線を上回った場合は△とします。

表 2-2 目標の進捗評価方法

		現状の評価
推移（傾向）	2030 年度目安に対して下回った（良好）	◎
推移（傾向）	2030 年度目安に対してほぼ同等	○
推移（傾向）	2030 年度目安に対して上回った（不良）	△



図 2-2 削減目標達成状況（総量）イメージ図

2.2 進捗結果

文京区における二酸化炭素総排出量は、オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」による「温室効果ガス排出量算定手法に関する説明書」（以下、温室効果ガス排出量算定ソフト）を基に把握しています。2022（令和 4）年度の二酸化炭素排出量（総量）は、前年度より 1 千 t-CO₂ 増加し、基準年度（2013（平成 25）年度）比で 8.3%の減少となりました。目安線をやや上回っています。

2022（令和 4）年度の民生（家庭）部門 1 世帯当たり二酸化炭素排出量は目安線を上回り、民生（業務）部門延べ床面積 100 m²当たり二酸化炭素排出量も目安線をやや上回っていますが、前年度（2021（令和 3）年度）より減少しています。民生（家庭）部門 1 世帯当たり二酸化炭素排出量は 2013（平成 25）年度比で 278（kg-CO₂）、民生（業務）部門延べ床面積 100 m²当たり二酸化炭素排出量は 2013（平成 25）年度比で 1,736（kg-CO₂）の削減となっています。

表 2-3 総量目標の推移と評価

総量目標	基準年度	2020	2021	実績	基準年度比削減率(%)	評価	将来の目安 2030
	2013			2022			
2013(平成 25)年度比削減量(千 t-CO ₂)	1,189	1,087	1,089	1,090	8.3%	○	854

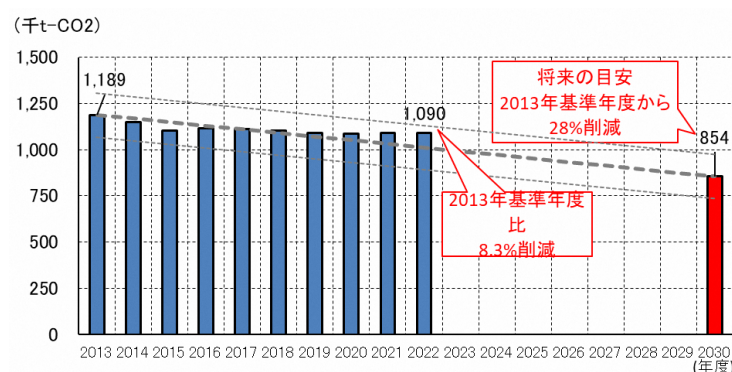


図 2-3 総量目標の推移

表 2-4 部門別目標の推移と評価

部門別目標	基準年度	2020	2021	実績	基準年度比	評価	将来の目安 2030
	2013			2022			
民生（家庭）部門 1 世帯当たり二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	2,850	2,631	2,650	2,573	▲278	○	▲794
民生（業務）部門延べ床面積 100 m ² 当たり二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	10,538	8,166	8,819	8,802	▲1,736	○	▲3,585

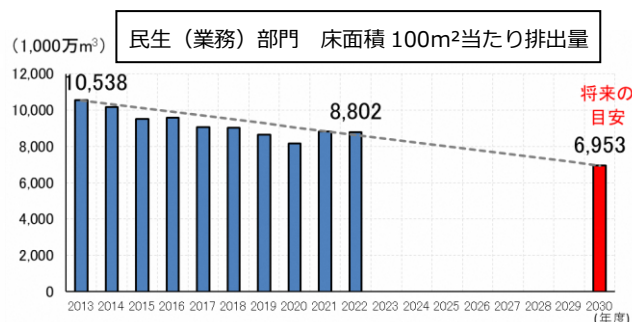
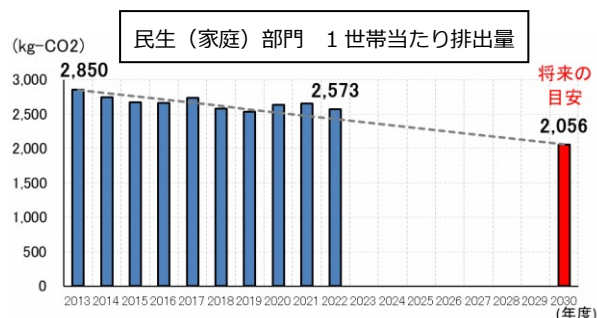


図 2-4 部門別目標の推移

3. 文京区における行動計画（アクションプラン）の実施状況

本計画に基づいて 2024（令和 6）年度に本区が実施した主なアクションプランについて、5 つの分野ごとに取組内容をまとめました。

※所管課の名称は 2024（令和 6）年度時点のものです。

分野1 省エネルギーの推進

1-1 暮らしにおける環境配慮行動

省エネルギー型家庭用機器の導入支援及び情報提供や啓発による日常生活における省エネルギー行動の促進

1-2 事業活動における環境配慮行動

省エネルギー機器導入支援策及び事業活動における省エネルギー行動の促進

1-3 区の率先行動

区有施設における省エネルギー設備・機器等の導入等、建築物における各種省エネルギー対策及び区職員の率先的な環境配慮行動の実践

<2024（令和6）年度の主な取組内容>

1-1 暮らしにおける環境配慮行動

- 省エネルギー設備（家庭用燃料電池、蓄電池等）の設置助成を行いました。（409件）【環境政策課】
- 既存の住宅等の屋上・屋根部分に高日射反射率塗料を施工した場合に経費の一部を助成しました。（68件）【環境政策課】
- 区報や区ホームページで、省エネルギー効果がある移動手段のエコドライブ（急発進をやめる、加減速の少ない運転等）について周知・啓発しました。【環境政策課】
- 自転車シェアリング事業、レンタサイクル事業の実施及び区報、区ホームページやリーフレット等で周知しました。【管理課】
- 区報や区ホームページで、コミュニティバス「Bーぐる」（3ルート）や電車等の公共交通機関の利用促進を行いました。【区民課】【環境政策課】
- わが家の省エネチャレンジ事業を実施しました。（104世帯参加）【環境政策課】
- 区報や区ホームページ等で、環境に配慮した消費者（グリーンコンシューマー）行動の普及促進を行いました。【環境政策課】
- 一般向け消費生活研修会（エシカル消費・食品ロス削減）を2回実施しました。（延べ48名参加）【経済課】
- 工作を通してエシカル消費について学ぶ夏休み子ども向け研修会・出前講座を実施しました。（研修会は9回で延べ134名参加。出前講座は2回で延べ52名参加）【経済課】
- 家庭の日啓発事業で、植物の種を区立小学校全児童へ配布しました。【児童青少年課】
- 毎月第2土曜日及び第4土曜日を「湯遊入浴デー」として、区内在住者を対象に100円（小学生以下は無料）で入浴できる入浴デーを実施しました。また、シニア入浴事業を年52回実施しました。【生活衛生課】

1-2 事業活動における環境配慮行動

- 低炭素建築物の認定を行いました。（48件）【建築指導課】
- 省エネルギー設備設置の助成を行いました。（5件）【環境政策課】
- 区内中小企業に対して、省エネルギーの促進（持続可能性向上支援（省エネ設備）補助、融資あっせん）を実施しました。（補助金申込34件）【経済課】
- 東京都の省エネルギー診断について、区ホームページやチラシ配架等で周知しました。【環境政策課】
- 区報や区ホームページ等で、環境に配慮した消費者（グリーンコンシューマー）行動の普及促進を行いました。【環境政策課】

- 区ホームページ等で電気自動車急速充電スタンド設置の情報を提供しました。【環境政策課】
- 省エネルギー対策について文京区内大学サステナビリティ意見交換会を実施し、傍聴の企業から講評をいただきました。（11大学・14団体・区内企業5団体が参加）【環境政策課】
- SDGs・脱炭素経営の基礎的支援として、セミナーを開催しました。（SDGs・Society5.0に関するセミナー：1回、GX/脱炭素に関するセミナー：1回）【経済課】

1-3 区の率先行動

- 空調設備改修工事に併せて最上階普通教室の断熱化（林町小学校、駒本小学校、第一中学校、文林中学校）を行いました。【学務課】
- 外装改修工事に併せて壁天井の断熱化及び複層ガラスの導入（本郷小学校、湯島小学校）を行いました。
- シビックセンターにLED照明を導入しました。（障害者会館内）
また、シビックセンターの25階・26階については改修工事中です。【施設管理課】
- 区有施設での省エネルギー指導をフォローアップ支援として実施しました。【環境政策課】
- カーボン・オフセットを行いました。（熊本県よりJクレジット400t購入）【環境政策課】
- 区有施設への環境に配慮した資材等の活用を行いました。【施設管理部】
- グリーン購入及び環境配慮契約法の推進を行いました。【環境政策課】
- チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」を活用しました。（アクセス数102,648件、LINEの友だち登録者数11,951名、LINEによる情報提供（プッシュ式）33回）【リサイクル清掃課】
- RPA（ロボットによる業務自動化）・AI（人工知能）等の活用による業務改善として、RPAによる庶務事務システムの超過勤務命令等の入力、財務会計システムの総価単価契約執行処理・検査結果入力・支出命令等の入力を実施しました。また、文章生成AIを利用できる環境を整備し、内部事務のさらなる効率化を図った。【情報政策課】
- 地域推進協議会を3回開催しました。【環境政策課】
- クールビズ（年間を通して室内温度に適した服装（ノーネクタイ等）での執務を推奨）、ノー残業デー（毎週水・金曜日）の実施とともに、ノー残業デー推進期間（7月1日～8月31日）を設けました。【職員課】
- リース機器調達等の際に、省エネ型OA機器を導入できるよう、契約書類の特記事項に記載しました。【情報政策課】
- 不要な照明の消灯、階段の2アップ3ダウンを職員に呼びかけ、庁内放送でノー残業デーについて周知を行いました。【施設管理課】
- コピー用紙の注文票に、参考数値として各フロアの累計注文箱数を掲載して意識高揚を図りました。【総務課】

【周知・啓発】

- 毎月の区報や区ホームページ、庁内放送で、「文京版クールアース・デー」における身近な取組の情報発信を行いました。【環境政策課】
- 計画概要版の配布により、省エネの取組等について啓発を行いました。（区立小学校5年生、区立中学校1年生対象）【環境政策課】
- 気候変動対策に関するイベント（クールアースフェア）を開催しました。（参加者延べ1,506名）【環境政策課】
- 環境学習の機会の提供及び人材の育成・活用として、親子環境教室を6回（延べ352名）、環境ライフ講座を7回（延べ73名）開催しました。【環境政策課】
- 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進のため、持続可能な開発目標（SDGs）副教材等を送付しました。（1回）【教育指導課】
- 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進のため、計画概要版を配布しました。（区立小学校5年生、区立中学校1年生）【環境政策課】
- 区ホームページで家庭や事業所の省エネにつながる東京都等の情報や助成事業を紹介しました。【環境政策課】
- 「明日通信（文京区地球温暖化対策ニュース）」（5回）「シビックセンターニュース」（2回）を発行し職員への啓発を行いました。【環境政策課】【施設管理課】
- 地球温暖化に関する職員研修を実施しました。【環境政策課】

<クールアースフェア>

地球環境保全の取組の一つである「地球温暖化対策」の啓発を目的に、区では「文京版クールアース・デー」の啓発イベントとして、毎年、夏に「クールアースフェア」を開催しています。令和6年度は8月10日（土）に開催し、延べ1,506名の方にお越しいただきました。



【令和6年度チラシ】

分野2 再生可能エネルギー等の利用促進

2-1 再生可能エネルギー利用

家庭への再生可能エネルギー等設備の導入支援及び区有施設における再生可能エネルギーの利用検討

2-2 先進的なエネルギー利用

水素エネルギーに関する区民・団体、事業者への情報提供・普及啓発、地域における利活用方策の検討及び次世代自動車の活用による電力利用検討

<2024（令和6）年度の主な取組内容>

2-1 再生可能エネルギー利用

- 再生可能エネルギー設備（太陽光発電システム）設置を助成しました。（114件）【環境政策課】
- シビックセンターの使用電力を再生可能エネルギー100%電力で契約しました。【環境政策課】【施設管理課】
- 文京区内大学サステナビリティ意見交換会を実施し、各大学の再生可能エネルギー等の取組について報告いただき、傍聴の企業から講評をいただきました。（11大学・14団体・区内企業5団体が参加）（再掲）【環境政策課】

2-2 先進的なエネルギー利用

- 家庭用燃料電池設置を助成しました。（66件）【環境政策課】
- 東京都の「Tokyoスイソ推進チーム」に参加して、水素エネルギーについて情報収集しました。【環境政策課】
- 水素エネルギーや水素社会のイメージについて、区ホームページの文京区環境基本計画コラムで紹介しました。【環境政策課】
- 旧岩井学園グラウンド跡地における太陽光発電所の設置を開始しました。【環境政策課】

【周知・啓発】

- 気候変動対策に関するイベント（クールアースフェア）を開催しました。（参加者延べ1,506名）（再掲）【環境政策課】
- 環境学習の機会の提供及び人材の育成・活用として、親子環境教室を6回（延べ352名）、環境ライフ講座を7回（延べ73名）開催しました。（再掲）【環境政策課】

- 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進のため、持続可能な開発目標（SDGs）副教材等を送付しました。（1回）【教育指導課】
- 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進のため、計画概要版を配布しました。（区立小学校5年生、区立中学校1年生）（再掲）【環境政策課】
- 区ホームページで再生可能エネルギーに関連する東京都等の情報や助成事業を紹介しました。（再掲）【環境政策課】

<『文京ソーラーパワー・岩井』とオフサイトPPA>

区が千葉県内に所有する旧岩井学園グラウンド跡地での太陽光発電所『文京ソーラーパワー・岩井』の建設を進めています。太陽光発電設備の整備・運営管理は東京電力ホールディングス株式会社がを行い、発電された電気は長期的に購入する契約形態（コーポレート PPA）により文京スポーツセンターの電気として活用します。



文京ソーラーパワー・岩井
（千葉県南房総市）



文京スポーツセンター
（東京都文京区）

【概要】

土地面積:2898.76 m² 発電設備:292.74kw 年間発電電力量:344,867kwh

分野3 スマートシティの推進

3-1 環境に配慮した交通手段

自転車・公共交通機関の利用促進及び自転車利用環境の整備等による運輸部門からの二酸化炭素排出量の削減

3-2 環境に配慮したまちづくり

再開発等に合わせた効率的なエネルギー利用の検討、低炭素建築物の促進及び二酸化炭素を吸収するみどりの創出等によるまち全体のエネルギー効率の向上

<2024（令和6）年度の主な取組内容>

3-1 環境に配慮した交通手段

- 区報や区ホームページで、省エネルギー効果がある移動手段のエコドライブ（急発進をやめる、加減速の少ない運転等）について周知・啓発しました。【環境政策課】
- 自転車シェアリング事業、レンタサイクル事業の実施及び区報や区ホームページ、リーフレット等で周知しました。【管理課】
- 区報や区ホームページで、コミュニティバス「Bーぐる」（3ルート）や電車等の公共交通機関の利用促進を行いました。（再掲）【区民課】【環境政策課】
- 次世代自動車について、区ホームページの文京区環境基本計画等で紹介しました。【環境政策課】
- 自転車レーンの整備に向け、文京区自転車ネットワーク計画を含む文京区自転車活用推進計画を推進しました。【管理課】
- 自転車シェアリング事業を複数事業者との協定に基づき展開しました。（文京区年間利用回数

771,947回、サイクルポート数254か所)【管理課】

- 自転車走行空間整備のため、自転車通行空間ネットワーク計画調整会議へ参加しました。【管理課】
- 自転車通行空間整備として、5,915.0mを整備しました。【道路課】
- 総合的な自転車対策の推進を実施しました。(自転車駐車場の駐輪設備を3か所改修。レンタサイクル事業を実施(電動アシスト自転車50台))【管理課】
- 自転車TSマーク取得費用助成事業(定期的な点検整備、保険加入促進、利用者へのルール・マナーの周知・啓発)を実施しました。(631件)【管理課】

3-2 環境に配慮したまちづくり

- 低炭素建築物の認定を行いました。(48件)(再掲)【建築指導課】
- 街路灯・保安灯のLED化を実施しました。(101基(累計7,507基))【道路課】
- ポケットパーク・グリーンスポットの整備を行いました。(ポケットパーク15箇所、グリーンスポット21箇所)【みどり公園課】
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導を行いました。(民間73件、公共4件)【みどり公園課】
- みどりのふれあい事業を実施しました。(参加人数:木のクイズラリー294名、植物講演会55名、苗木配布140名。登録人数:緑のサポートボランティア49名)【みどり公園課】
- 街路樹・植樹帯の保全を行いました。(区道街路樹42路線、区道植樹帯60路線)【みどり公園課】
- 屋上緑化補助を実施しました。(1件)【みどり公園課】
- 保護樹木・樹林の制度による樹木の維持管理支援を行いました。(申請件数45件、助成本数93件、樹林地箇所4か所)【みどり公園課】
- 区ホームページ文京区環境基本計画コラムで、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を紹介しました。【環境政策課】

分野4 循環型社会の形成

4-1 家庭系ごみの3R

生ごみの減量や食品ロス削減、家庭から出る不用品のリユースの促進及び区民等によるリサイクルの取組支援

4-2 事業系ごみの3R

ごみ排出に関する事業者への指導や自己処理の促進等の働きかけ及び区有施設における率先的なごみの削減

<2024(令和6)年度の主な取組内容>

4-1 家庭系ごみの3R

- 家庭系ごみにおけるリデュース推進のため、Bunkyoごみダイエット通信の発行(3月)、食品ロス削減に関する講座を開催しました。【リサイクル清掃課】
- 生ごみ減量活動を推進しました。生ごみ減量講座(1回目6月、28名。2回目11月、24名受講)、エコ・クッキング教室(7月、親子26組参加)を実施しました。【リサイクル清掃課】
- 家庭用生ごみ処理機等購入費補助を実施しました。(170件)【リサイクル清掃課】
- プラスチックごみ削減に向けた取組の普及啓発のため、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&プレゼントキャンペーンにおいて、利用者アンケートに回答した区内在住・在勤・在学者のうち、抽選で45名に保冷バッグを配布しました。(アンケート回答数792件)【リサイクル清掃課】
- 脱プラスチック製容器等購入費補助を実施しました。(9件)【リサイクル清掃課】
- 食品ロス削減に向けた取組として、区内郵便局への食品ロス削減促進事業ポスター等の掲示や、フードドライブをリサイクル清掃課窓口及びイベント時の回収のほか、自宅訪問受取サービス等において実施しました。(食品回収量1,990kg)また、3月にモノ・フォーラム(食品ロス削減講座)を開催しました。(13名参加)【リサイクル清掃課】

- 文京×タバスケ（フードシェアリングサービス）の登録ユーザーが1,579名、登録店舗が26店舗となりました。【リサイクル清掃課】
- 食べきり協力店登録が89店舗となりました。【リサイクル清掃課】
- 家庭ごみにおけるリユースの推進のため、子ども服無料頒布会をシルバーホールで2回実施しました。（1回目110世帯、2回目190世帯来場）また、エコ・リサイクルフェアにてフリーマーケットを実施しました。（11月区内在住者20組出店）【リサイクル清掃課】
- 集団回収拡充のため、実践団体へ報奨金、回収業者へ支給金を9月・3月に支給しました。（支給額：26,249,742円）また、バス見学会は24名で実施しました。【リサイクル清掃課】
- 資源回収拡充のため、区ホームページやパンフレット等で普及啓発を行いました。（粗大ごみの資源化量416,680kg・不燃ごみの資源化量（水銀含有物）37,970kg）【リサイクル清掃課】

4-2 事業系ごみの3R

- 大規模・中規模事業所の3R推進のため、立入指導を行いました。（大規模建築物82件、中規模建築物84件）また、廃棄物管理責任者講習会を前期はオンライン（Zoom）と対面にて開催しました。後期は動画視聴後、設問に回答するeラーニング形式で開催しました。（大規模：前期17名、後期104名。中規模：前期11名、後期130名）【リサイクル清掃課】
- 小規模事業所の3R推進のため、回収袋の作成と裁落用紙回収袋の購入支援を行いました。（R（リ）サークルオフィス文京：回収袋1,500枚を作成、産業別リサイクル：裁落用紙回収袋を大5枚・中70枚・小10枚購入）【リサイクル清掃課】
- 事業系ごみの自己処理の促進のため、一般廃棄物処理許可業者への立ち入り検査及び指導を行いました。（23件）【リサイクル清掃課】
- 食品ロス削減月間（10月）において、区職員に向けて庁内に啓発ポスターの掲示や庁内放送、庁内電子掲示板での掲示を行い、食品ロス削減を周知しました。【リサイクル清掃課】

【周知・啓発】

- 区ホームページ内の「動画で学ぶごみ減量」ページで前年に引き続き動画を公開しました。【リサイクル清掃課】
- 区設掲示板、B-ぐる内ポスター掲示、X（旧Twitter）やFacebookを活用して事業を周知するとともに、区LINE公式アカウントにおいて、ごみ・資源収集日の定期配信を実施しました。【リサイクル清掃課】
- エコ先生の特別授業（7/31、8/8、11/23、2/26、3/25）、リサイクル推進サポータースキルアップ講座（5/15、5/22、5/29、6/5、6/12、11名参加）、連絡会（12/6、14名参加）を実施しました。また、生ごみ減量講座を実施しました。（1回目6月、28名。2回目11月、24名）【リサイクル清掃課】
- リサイクル推進サポータースキルアップ講座を実施（11名参加）、連絡会を12月に実施（14名参加）しました。また、生ごみ減量講座を実施しました。（1回目28名、24名）【リサイクル清掃課】
- リサイクル推進協力店の登録及び取組内容を区ホームページやリーフレットで紹介しました。（令和7年3月現在42店舗登録）【リサイクル清掃課】
- 事業者の先進的な3R及び廃棄物管理の取組事例の紹介として、事業用大規模・中規模建築物廃棄物管理責任者講習会を前期に2回オンライン（ZOOM）で開催しました。後期は、動画視聴後、設問に回答するeラーニング形式で開催しました。（大規模：前期17名、後期104名。中規模：前期11名、後期130名）【リサイクル清掃課】

<リサイクル推進協力店>

ごみ減量や資源の有効活用に取り組んでいるお店を「リサイクル推進協力店」として登録し、リーフレットや区のホームページ等で、その取組を紹介しています。リサイクル推進協力店は令和7年3月現在42店舗あります。



【リサイクル推進協力店 MAP(令和7年3月作成)】

分野5 気候変動の影響への適応

5-1 自然災害対策

道路の治水対策等の推進、ハザードマップ作成や避難誘導対策及び災害対応の体制整備等による区民等の安全・安心確保

5-2 健康被害に関する対策

気候変動による熱中症発症数の増加や感染症の発症の可能性等について、区民等への情報提供

5-3 暑熱対策

街なかのみどりの確保、遮熱性舗装等の推進、打ち水用品の貸出、クールシェアスポットの提供及び利用促進等による暑さ対策

5-4 自然生態系に関する対策

気候変動による生態系への影響や、外来種の侵入・定着等の影響に関する情報収集及び対応策検討

<2024（令和6）年度の主な取組内容>

5-1 自然災害対策

<道路の治水対策等>

- 防災ガイドや各種ハザードマップの内容を更新し、区有施設で配布を行いました。【防災課】
- 水防災監視システム機器の安定的な運用を図るため、クラウド化システムの構築に着手しました。【防災課】
- 文京区水防災監視システムにより、神田川4か所の水位情報及び隆慶橋の河川監視カメラの映像、区内6か所の雨量情報を発信しました。【防災課】
- 道路における治水対策を行いました。（透水性舗装 整備施工：7,089㎡ 清掃：25,682㎡、雨水浸透ます 設置：2個 清掃：250個）【道路課】
- 水害用土のうの備蓄及び配布を行いました。（土のう備蓄合計 4,166袋）【道路課】
- 雨水貯留槽の指導を行いました。（実績2,915㎡）【管理課】
- 雨水流出抑制施設の設置に関する指導を行いました。（22件）【管理課】
- 雨水タンク導入設置費助成を行いました。（1件）【環境政策課】
- 崖等整備資金助成を行いました。（1件）【地域整備課】
- 下水道局と工事等の連携をしました。（公共下水道枝線整備工事293.6m（白山四丁目付近）、下水道施設整備工事44.3m（関口二丁目付近））【道路課】

<避難誘導対策等>

- 防災士の資格取得助成を行いました。（21件）【防災課】
- 避難所におけるトイレの確保等、衛生環境の維持を図るため、簡易トイレ（スベア）の備蓄やドライシャンプーの配備を行いました。また、避難所内の夜間等における情報連絡手段として活用することを目的とした手書き電光掲示板の配備を行いました。【防災課】
- 区民防災組織等の活動助成及び備品等購入費助成等を行いました。（区民防災組織等の活動助成：42件、備品等購入費助成等：18件）【防災課】
- 避難所運営協議会の防災訓練実施費用の助成を行いました。（8件）【防災課】
- 避難行動要支援者の支援として、要支援者名簿や個別避難計画の作成を行いました。（同意式名簿の登録者数：1,922名 そのうち個別避難計画作成：1,510名）【防災課】

<災害対応の体制整備等>

- 事業者等との災害協定等を拡充しました。（令和6年度の災害協定等：2件）【防災課】
- 災害時受援・応援計画策定として、都市交流自治体ミーティングをオンラインにて実施し、他自治体と受援応援体制の強化を図りました。【防災課】
- 災害ボランティアセンターの設置・運営については、文京区社会福祉協議会職員や民生委員、交流がある他自治体の社会福祉協議会職員とともに、災害ボランティアマッチングシミュレーションゲームを活用し、訓練を実施しました。【福祉政策課】
- 事業の継続性確保の支援のため、区内中小企業に対してBCPに関するセミナーを実施しました。（1回）【経済課】

5-2 健康被害に関する対策

- 熱中症予防に関し、区報や区ホームページ、SNSに掲載し、ポスター・リーフレット・うちわの配布や、涼み処マップの配布、熱中症警戒アラートによる注意喚起を行いました。【健康推進課】
- 熱中症予防に関する子どもへの普及啓発として、計画の概要版を区立小中学校（区立小学校5年生、区立中学校1年生）に配布し、区ホームページで周知しました。【環境政策課】
- 高齢者への熱中症予防に関する普及啓発を行いました。（電話・訪問による啓発：1,534件、出張講座：開催回数79回、参加者810名）【高齢福祉課】
- 熱中症ゼロプロジェクト作成の啓発リーフレット及びうちわを環境関連イベントにおいて配布しました。【環境政策課】
- 幼稚園、小中学校等での熱中症予防対策として、関係通知を送付しました。（9回）【教育指導課】
- クールシェアスポットの提供として、ぶんきょう涼み処を開設しました。（区有施設39か所、

区内調剤薬局18か所、民間施設1か所)【健康推進課】

- 区ホームページで衛生害虫に関する情報等、感染症予防に関する情報発信を行いました。(蚊等)【生活衛生課】
- 日本脳炎の定期予防接種等、予防接種事業を実施しました。(延べ8,563名)【予防対策課】
- 東京都環境確保条例によりディーゼル車排出ガス規制を実施し、窒素酸化物の排出量削減対策として、事業者の低公害車導入にあたり、適合車種の審査を行いました。【環境政策課】
- 区施設等への光化学スモッグの情報発信をFAX送信からメール配信に変更しました。【環境政策課】

5-3 暑熱対策

- 打ち水用品の貸出を行いました。(1件)【環境政策課】
- 遮熱性舗装の更新を行いました。(バリアフリー整備工事(区道第807号)648.0㎡(後楽一丁目8番~二丁目1番先))【道路課】
- 街路樹・植樹帯の保全を行いました。(区道街路樹42路線、区道植樹帯60路線)(再掲)【みどり公園課】
- 保護樹木・樹林の制度による樹木の維持管理支援を行いました。(申請件数45件、助成本数93件、樹林地箇所4か所)(再掲)【みどり公園課】
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導を行いました。(民間73件、公共4件)(再掲)【みどり公園課】
- 屋上緑化補助を行いました。(1件)(再掲)【みどり公園課】
- ポケットパーク・グリーンスポットの整備を行いました。(ポケットパーク15箇所、グリーンスポット21箇所)(再掲)【みどり公園課】
- クールシェアスポットの提供として、ぶんきょう涼み処を開設しました。(区有施設39か所、区内調剤薬局18か所、民間1か所)また、涼み処マップを配布しました。(再掲)【健康推進課】

5-4 自然生態系に関する対策

- 身近な場所に生きものを呼べる緑化の推進をしました。(関口台公園、本郷給水所公苑)【みどり公園課】
- 街路樹・植樹帯の保全を行いました。(区道街路樹42路線、区道植樹帯60路線)(再掲)【みどり公園課】
- 保護樹木・樹林の制度による樹木の維持管理支援を行いました。(申請件数45件、助成本数93件、樹林地箇所4か所)(再掲)【みどり公園課】
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導を行いました。(民間73件、公共4件)(再掲)【みどり公園課】
- 屋上緑化補助を行いました。(1件)(再掲)【みどり公園課】
- 神田川水系水質監視連絡協議会(4回)を開催しました。【環境政策課】
- 水質検査の精度管理検査を実施しました(1件)【環境政策課】
- 外来種の捕獲を行いました。(ハクビシン10件)【環境政策課】
- 文の京生きもの図鑑を区出展イベント等で周知し情報発信しました。(95部販売)【環境政策課】
- 自然散策会を開催しました。(3回)【みどり公園課】
- 山村体験交流事業(川遊びや、稲刈り体験、雪遊び・スキー体験等)を実施しました。(やまびこ荘15回、魚沼市観光協会7回)【区民課】

【周知・啓発】

- 毎月の区報、区ホームページ及び庁内放送で、「文京版クールアース・デー」における身近な取組の情報発信を行いました。(再掲)【環境政策課】
- 気候変動対策に関するイベント(クールアースフェア)を開催しました。(参加者延べ1,506名)(再掲)【環境政策課】
- 環境学習の機会の提供及び人材の育成・活用として、親子環境教室を6回(延べ352名)、環境ライフ講座を7回(延べ73名)開催しました。(再掲)【環境政策課】
- 区ホームページ「家庭での地球温暖化対策の取組」「中小規模事業所への環境対策の支援等」ページにて情報を提供しました。【環境政策課】

<本区における暑熱対策>

区では、外出時の熱中症予防を目的に、区内協力施設を「ぶんきょう涼み処」として、施設利用者以外も立ち寄り暑さをしのげる場所として開設しています。外出時の熱中症予防としての活用を促すため、「ぶんきょう涼み処マップ」を作成し公開しました。区有施設では、ウォーターサーバーの整備も進めています。また、本年度の区報6月10日号の一面にて、日傘の使用による暑熱対策を周知しました。



【令和7年度 ぶんきょう涼み処マップ】



【区報ぶんきょう一面(令和7年6月10日号)】

4. 本計画の進捗状況

4.1 進捗評価方法

本計画の進行管理にあたり、長期的にモニタリングしていく指標を設定し、アクションプランの進捗状況を把握しています。

アンケート結果等により現状値を求め、将来の目安値達成への進捗評価を行いました。

表 4-1 進捗評価方法

評価の考え方	現状の評価
達成の見込み有	◎
達成まで引き続き行動が必要	○
達成まで更なる行動が必要	△

4.2 進捗結果

2024（令和 6）年度における評価可能な 14 指標のうち 9 指標は達成の見込み有、4 指標は達成まで引き続き行動が必要、1 指標は達成まで更なる行動が必要となりました。

省エネルギーの推進について「庁内 CO₂ 実排出量（床面積:100m² 当たり）」は、前年度の 2.46 t-CO₂ から 0.45 t-CO₂ 削減し 2.01 t-CO₂ となり、将来の目安を達成しています。「地球温暖化に関する意識向上率」は区民、事業者ともに計画策定時よりも向上しており、順調といえます。

区内再生可能エネルギー設備導入量は前年度の 5,682kW から 946kW 増加し 6,628kW となり、将来の目安を達成しています。区内再生可能エネルギー設備は固定価格買取制度から把握しており、現時点では全て太陽光発電設備となっています。

スマートシティの推進のうち「自転車シェアリング利用回数」は登録会員数の増加や連携区全体でのサイクルポートの増加により、計画策定時の 2 倍以上の水準で推移しています。

「コミュニティバス利用者数」は、路線数の増加等の影響で計画策定時より利用者が増加しています。

循環型社会の形成について、「区民 1 人 1 日当たりの総排出量」は 832g/人日、「区民 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量」は 319g/人日となりました。「区民 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量」は 2020 年度以降、減少傾向にあります。

気候変動の影響への適応について「熱中症救急搬送人員数」は昨年度より 9 人増加し、基準年度よりやや増加しています。地域防災力（活動助成率）は 89 件と昨年度より 28 件増加し、今年度は計画策定時より増加しています。

透水性舗装路線数・雨水浸透ます数は、道路改修の工事にあわせて改良しています。

＜進行管理指標＞

分野	指標	計画策定時 (2018 年度)	現状 (2024 年度)	評価	将来の目安 (2030 年度)
1 省エネルギー の推進	地球温暖化に対する意識向上率 (区民)	91%	92%	○	100%
	地球温暖化に関する意識向上率 (事業者)	89%	94%	○	100%
	庁内 CO ₂ 実排出量 (床面積:100 m ² 当たり)	4.17 t-CO ₂	2.01 t-CO ₂	◎	3.10 t-CO ₂
2 再生可能エ ネルギー等の 利用促進	区内再生可能エネルギー設備導入 量	4,134 kW	6,628kW	◎	4,953 kW
3 スマートシティ の推進	コミュニティバス利用者数	933,503 人	1,219,619 人	◎	策定時より増加
	自転車シェアリング利用回数	345,211 回	771,947 回	◎	策定時より増加
	緑被地面積	207.4 ha	215.9 ha ^{※1}	◎	214.5 ha ^{※2}
	緑被率	18.4%	19.1% ^{※1}	◎	19.0% ^{※2}
4 循環型社会 の形成	区民 1 人 1 日当たりの総排出量 ^{※3}	958g/人日 (2019 年度)	832g/人日	○	747
	区民 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排 出量 ^{※3}	358g/人日 (2019 年度)	319g/人日	○	269
5 気候変動の 影響への適 応	地域防災力（活動助成件数）	68 件	89 件	◎	策定時より増加
	透水性舗装路線数	－	6 路線 ^{※4}	◎	策定時より増加
	雨水浸透ます数	－	2 個 ^{※4}	◎	策定時より増加
	熱中症救急搬送人員数	94 名	111 名	△	策定時より減少

※ 1 5 年～9 年ごとに 1 回の調査のため、2023 年度の値を据え置きとしています。

※ 2 令和 7（2025）年 4 月に報告された「文京区みどりの基本計画 中間評価報告書」で定められている値を用います。

※ 3 「文京区一般廃棄物処理基本計画（令和 3 年 3 月策定）」に基づく数値とし、基準年度を 2019 年度とします。

※ 4 各年度内に新たに工事または設置した数

5. アンケート結果

区では、本計画の進捗状況を測るための手段の一つとして、区民、事業者に取り組状況等のアンケート調査を実施しています。主なアンケート結果を示します。なお、集計結果は端数処理の関係により、合計が 100%とならないことがあります。

＜アンケート調査の概要＞

	区民	事業者	団体
対象	・ 18 歳以上の住民基本台帳登録者 1,200 人 (住民基本台帳から無作為抽出)	・ 大規模事業者（業務部門） 28 事業所 (都条例による指定（特定）地球温暖化対策事業所) ・ 中小規模事業者（業務部門） 500 事業所 (商用データベースをもとに層別抽出)	・ 区内で環境活動等を行っている 11 団体
調査項目	・ 回答者の属性 ・ 地球温暖化対策に向けた行動について ・ 地球温暖化対策の取組に関する意識について ・ 生物多様性に関する意識・認知度について	・ 回答者の属性 ・ 地球温暖化対策に関する行動について ・ 地球温暖化対策の取組に関する意識について ・ 生物多様性に関する意識・認知度について	・ 回答者の属性 ・ 地球温暖化対策に関する行動について ・ 地球温暖化対策の取組に関する意識について
回収率	28.1% (336/1,196 ^{※1}) (web : 8.9%)	23.8% (123/517 ^{※1}) (web : 7.9%) (大規模事業者 : 18) (中小規模事業者 : 105)	45.5% (5/11) (web : 9.1%)
実施時期	2025 年 5 月 23 日発送 7 月 11 日投函〆切 ※調査票郵送時の〆切は 6 月 20 日としたが、回答状況を鑑み 7 月 11 日まで延長		
発送回収方法	調査票の郵送、リマインドハガキ郵送 郵送回収と Web 回答		
送付資料	・ 依頼文 ・ 調査票 ・ 普及啓発チラシ（「環境政策課事業のご紹介」「文の京生きもの図鑑のご紹介」「ゼロカーボンシティへの賛同登録のお願い」「文京区新エネルギー省エネルギー設備設置費助成のご案内」）		

※1:宛先不明で返却された分は、母数から除外している。

＜アンケート回答率の推移＞

実施年度	区民			事業者			団体		
	全体	郵送	web ^{※2}	全体	郵送	web ^{※2}	全体	郵送	web ^{※2}
2015		34.0%			38.1%			43.5%	
2016		35.0%			37.5%			66.7%	
2017		29.9%			31.8%			63.2%	
2018		30.5%			31.8%			71.4%	
2019		34.3%			29.2%			64.3%	
2020		31.8%			28.5%			50.0%	
2021		28.4%			35.7%			33.3%	
2022	24.8%	19.6%	5.1%	28.1%	26.8%	1.7%	42.9%	35.7%	7.1%
2023	34.2%	22.6%	11.6%	31.3%	27.5%	3.8%	64.3%	50.0%	14.3%
2024	31.6%	20.6%	11.0%	29.8%	22.7%	7.4%	83.3%	58.3%	25.0%
2025	28.1%	19.2%	8.9%	23.8%	15.8%	7.9%	45.5%	36.4%	9.1%

※2:web 併用の調査は 2022 年度より実施。

5.1 区民

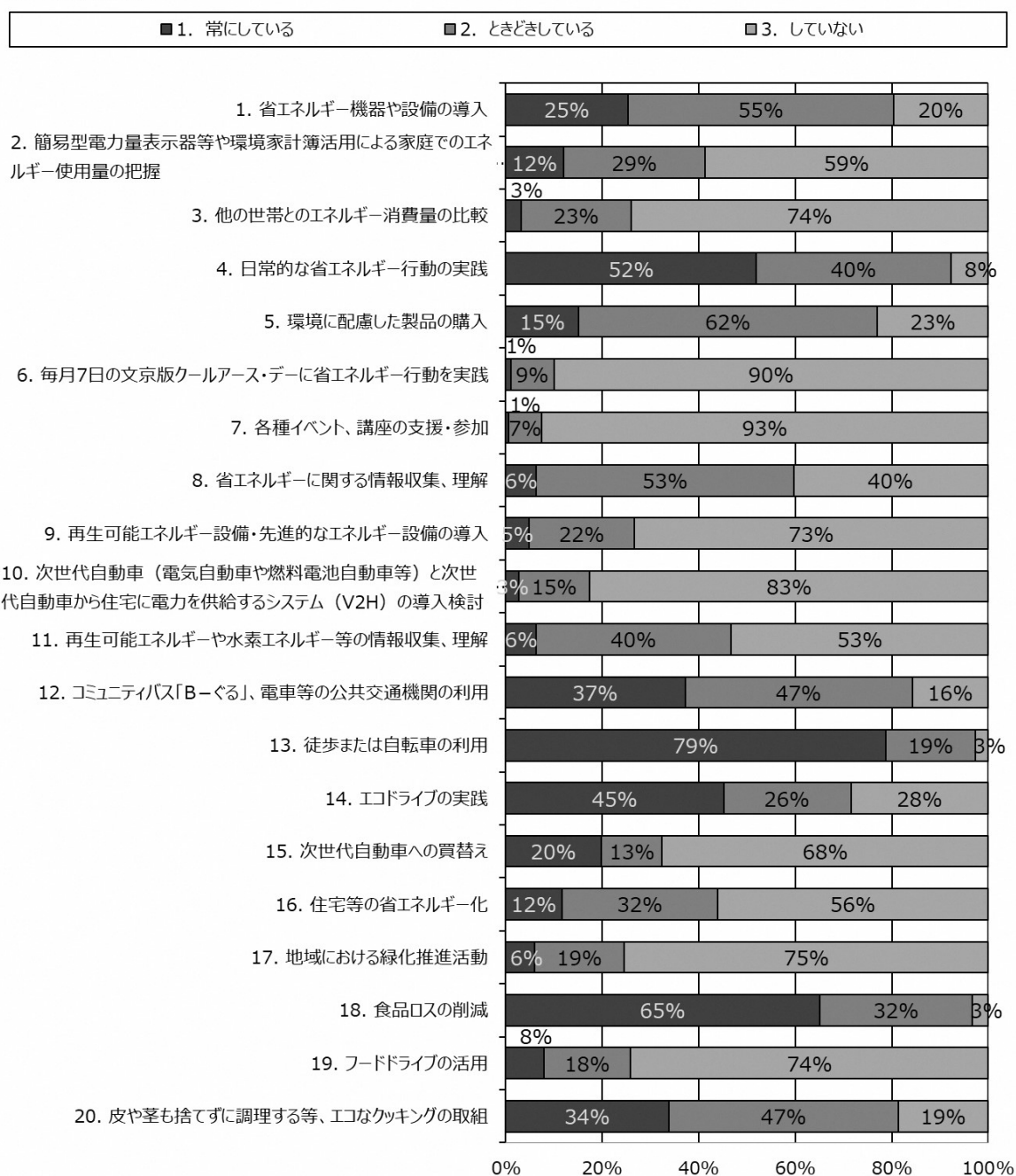
(1) 地球温暖化対策に向けた行動

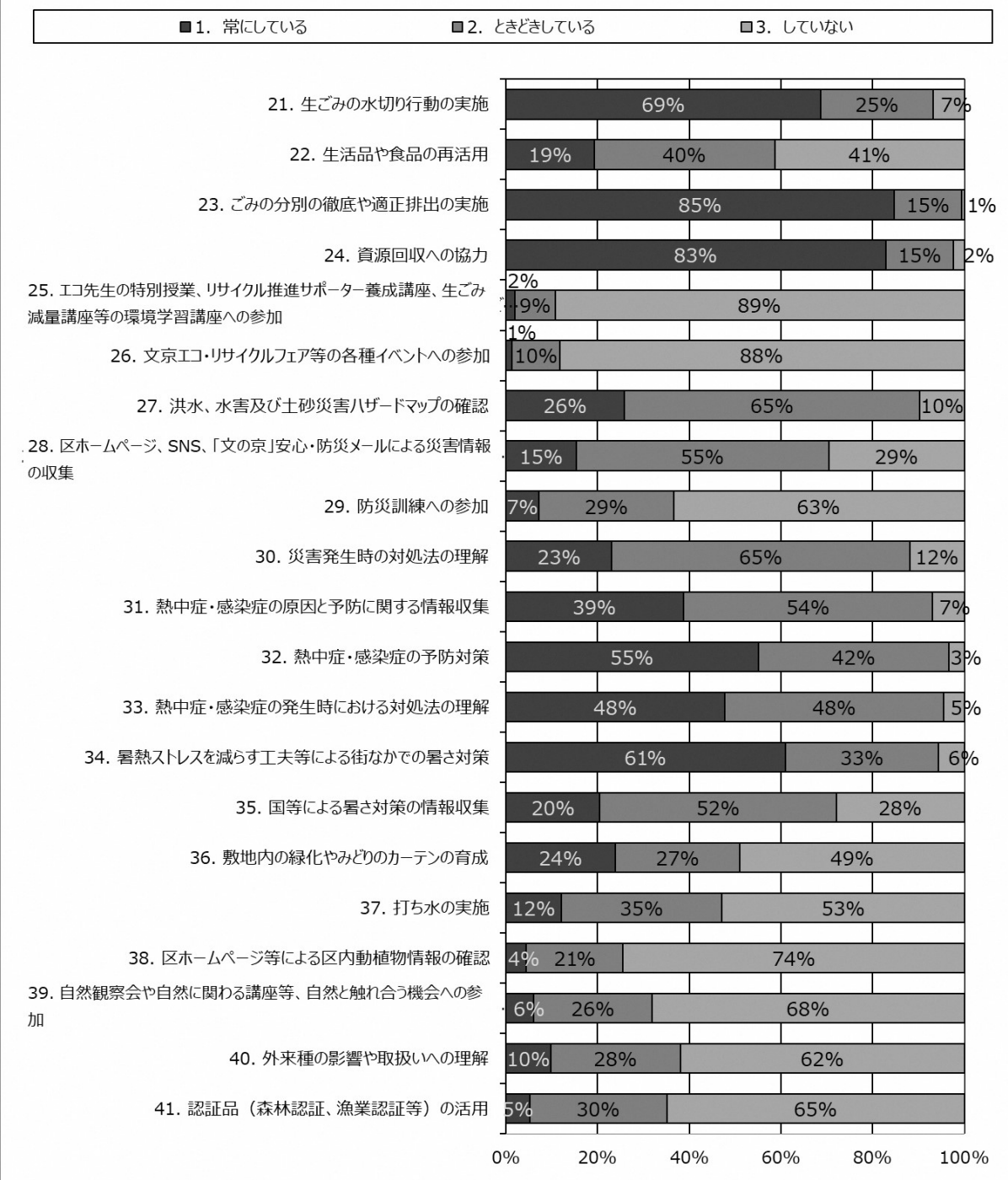
実施率（「常に行っている」、「時々している」の合計）について 9 割以上の実施率となっているものは、下記 11 項目となっている。

「4. 日常的な省エネルギー行動の実践」
「13. 徒歩または自転車の利用」
「18. 食品ロスの削減」
「21. 生ごみの水切り行動の実施」
「23. ごみの分別の徹底や適正排出の実施」
「24. 資源回収への協力」

「27. 洪水、水害及び土砂災害ハザードマップの確認」
「31. 熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集」
「32. 熱中症・感染症の予防対策」
「33. 熱中症・感染症の発生時における対処法の理解」
「34. 暑熱ストレスを減らす工夫等による街なかでの暑さ対策」

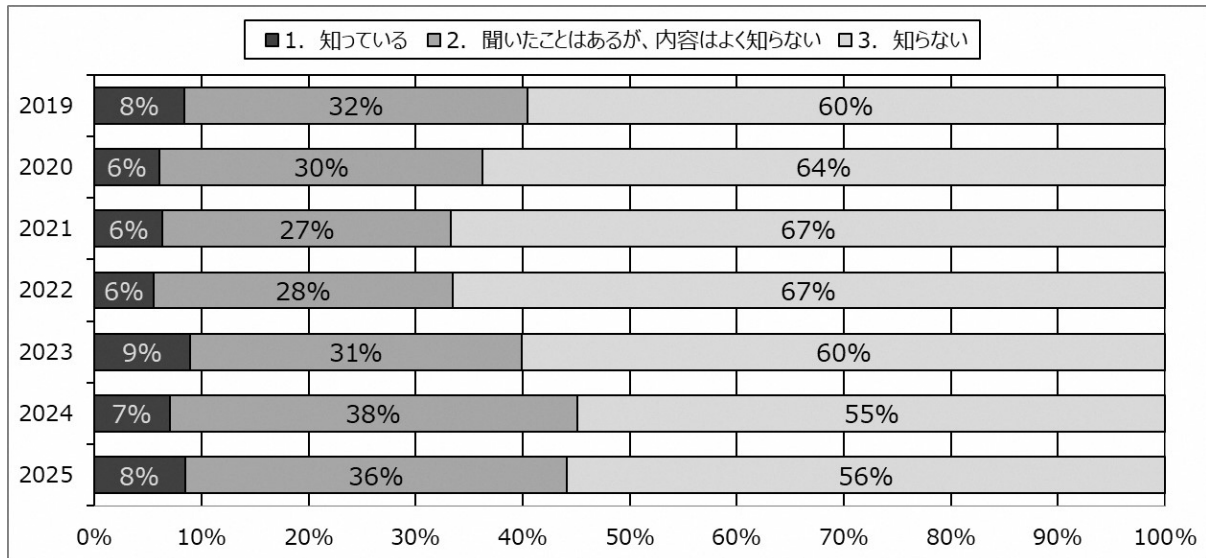
「区民 実施状況」1/2





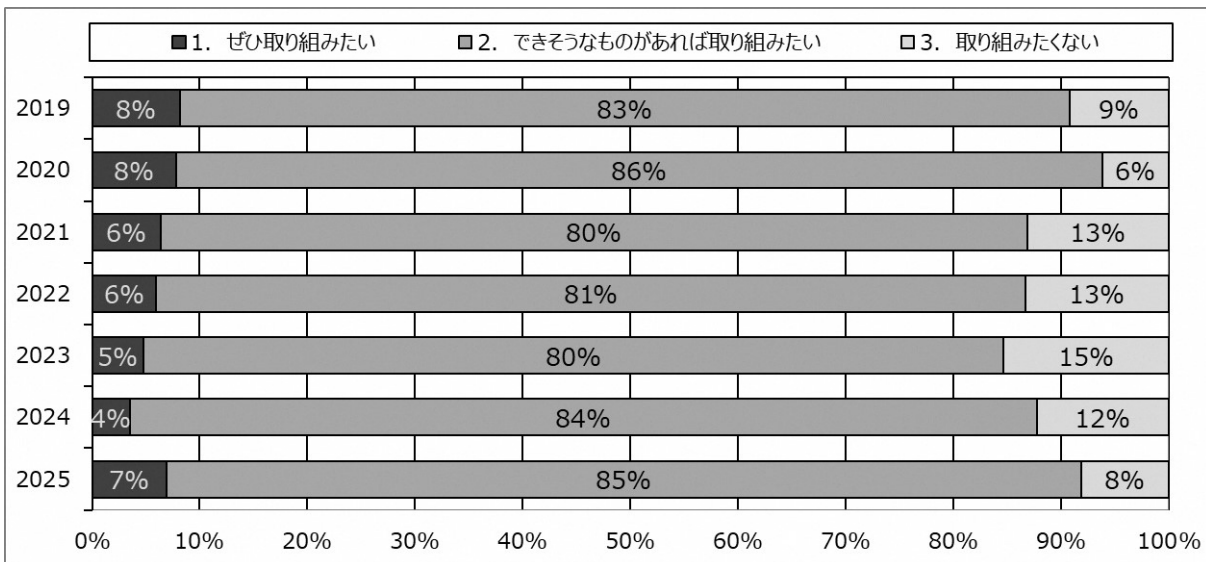
(2) 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の認知度

「知っている」の割合は 1 割未満と低い。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を加えた認知度は 4 割程度にとどまる。認知度は 2022 年度まで減少傾向にあったが、2023 年度以降は同程度で推移している。



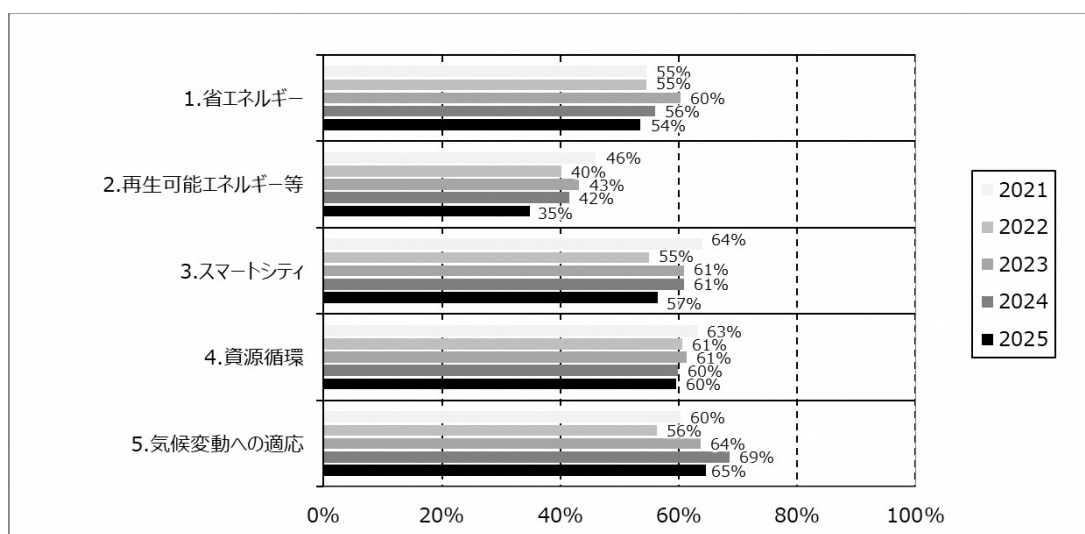
(3) 地球温暖化対策の行動（アクションプラン）に関する取組意識

「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」を合計した割合は 9 割程度と高い取組意識度を維持している。「ぜひ取り組みたい」は前年度まで減少傾向にあったが、今年度は前年度より増加している。



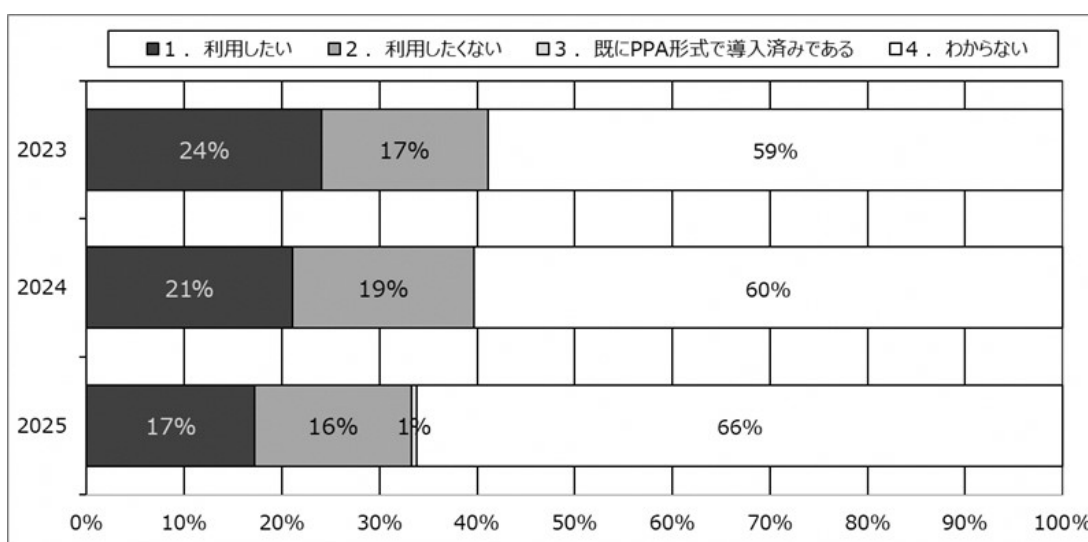
(4) 今後の地球温暖化対策として興味・関心がある分野について

「2.再生可能エネルギー等」は4割未満とやや低い。それ以外は5～6割程度となっている。



(5) 太陽光発電設備を設置する際の「PPA」の利用について

「利用したい」と「利用したくない」の割合はともに2割程度であり、「わからない」が過半数を占めている。



5.2 事業者

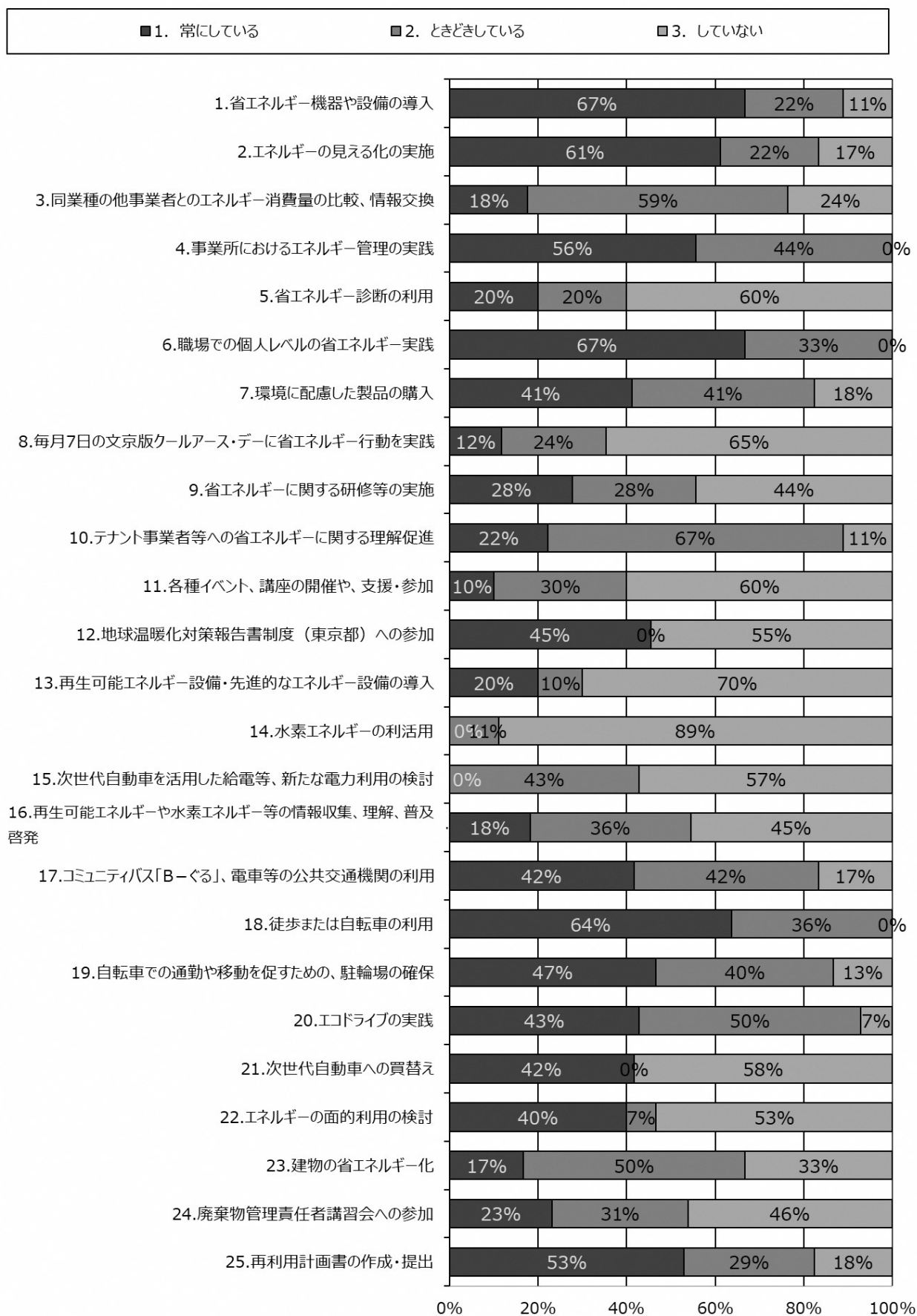
(1) 地球温暖化対策に関する行動

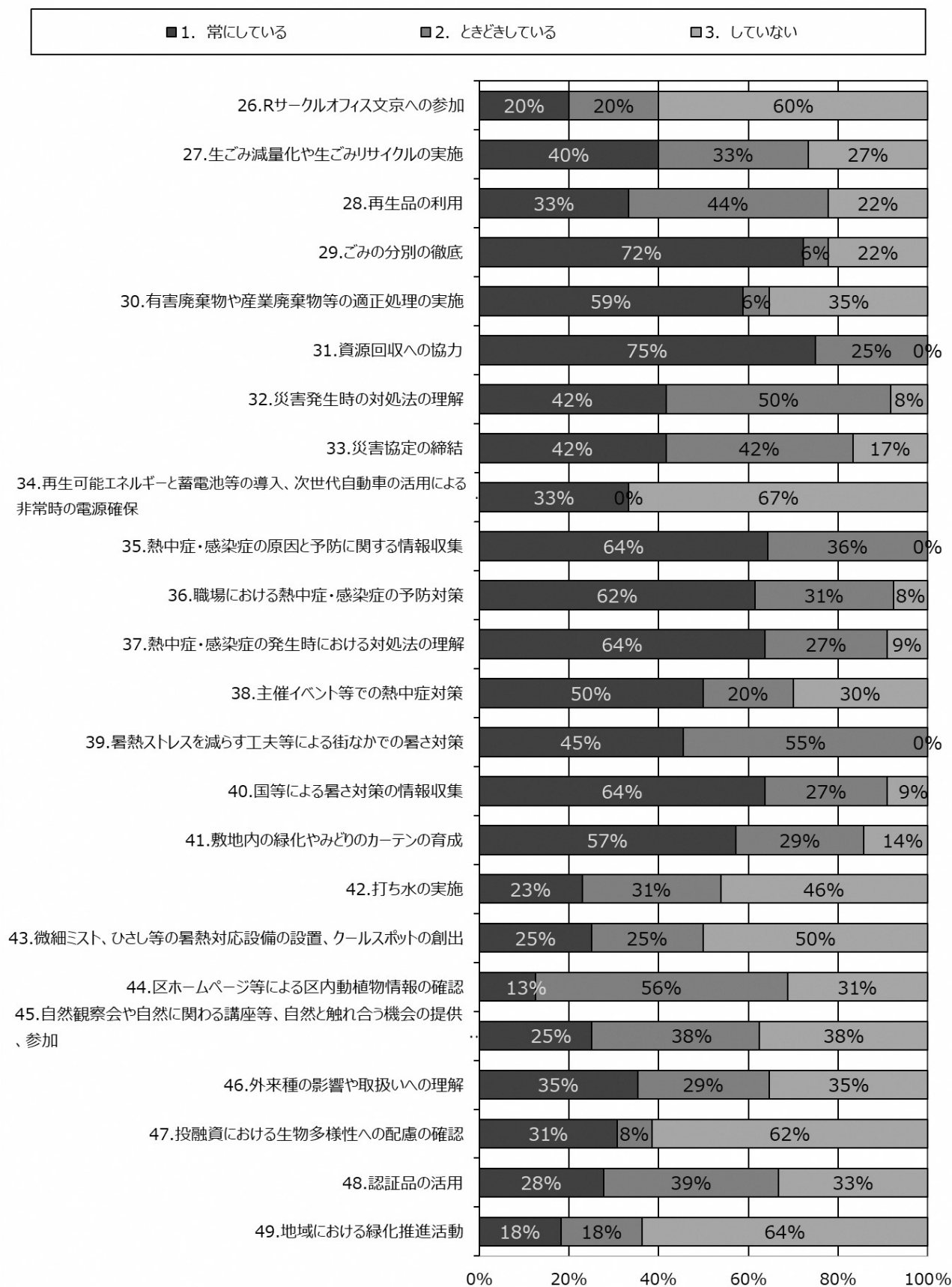
【大規模】

実施率（「常にしている」、「時々している」の合計）について9割以上の実施率となっているものは、下記の11項目となっている。

「4.事業所におけるエネルギー管理の実践」
「6.職場での個人レベルの省エネルギー実践」
「18.徒歩または自転車の利用」
「20.エコドライブの実践」
「31.資源回収への協力」
「32.災害発生時の対処法の理解」

「35.熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集」
「36.職場における熱中症・感染症の予防対策」
「37.熱中症・感染症の発生時における対処法の理解」
「39.暑熱ストレスを減らす工夫等による街なかでの暑さ対策」
「40.国等による暑さ対策の情報収集」





【中小規模】

実施率（「常にしている」、「時々している」の合計）について 9 割以上の実施率となっているものは、下記の 4 項目となっている。

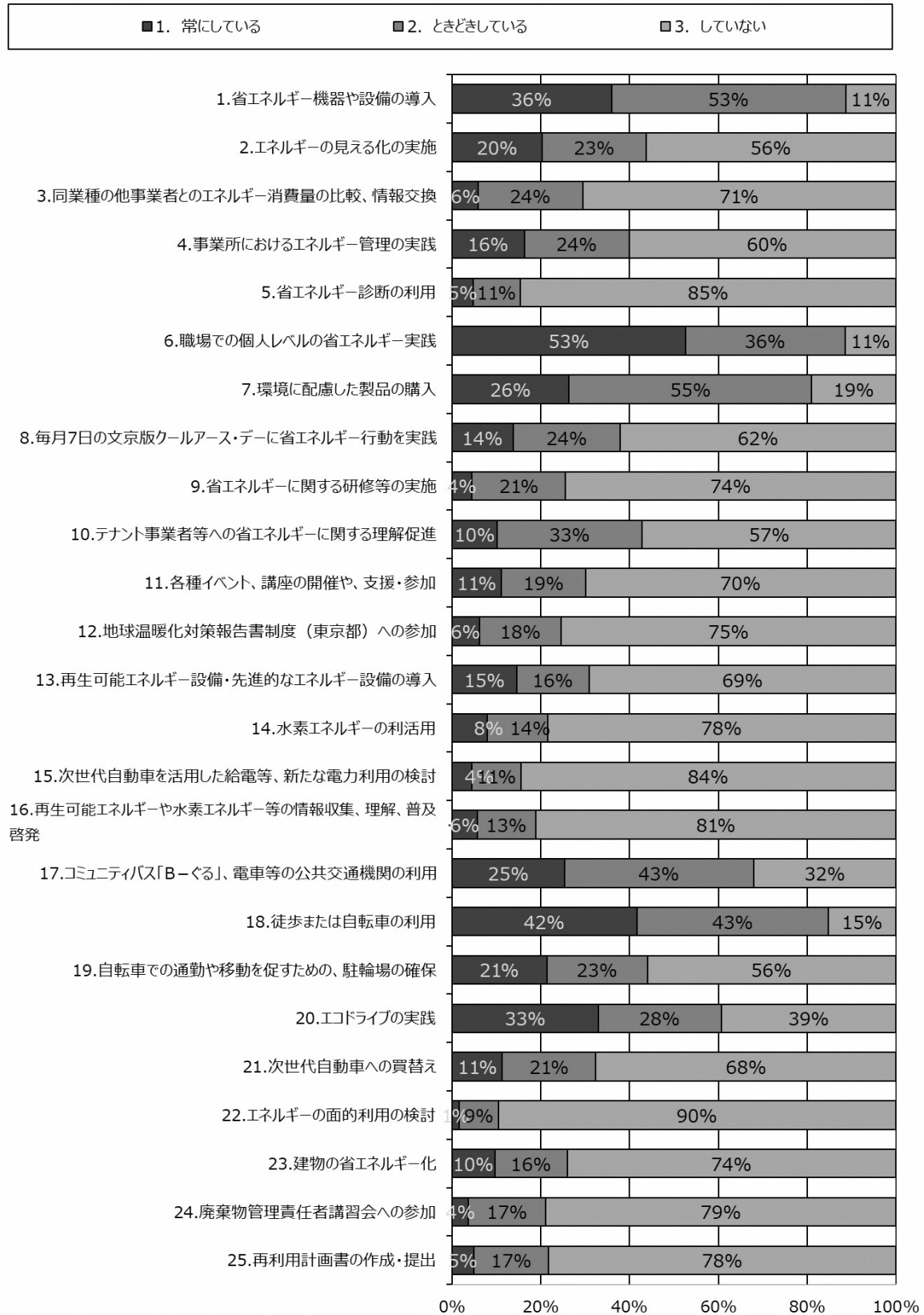
「31.資源回収への協力」

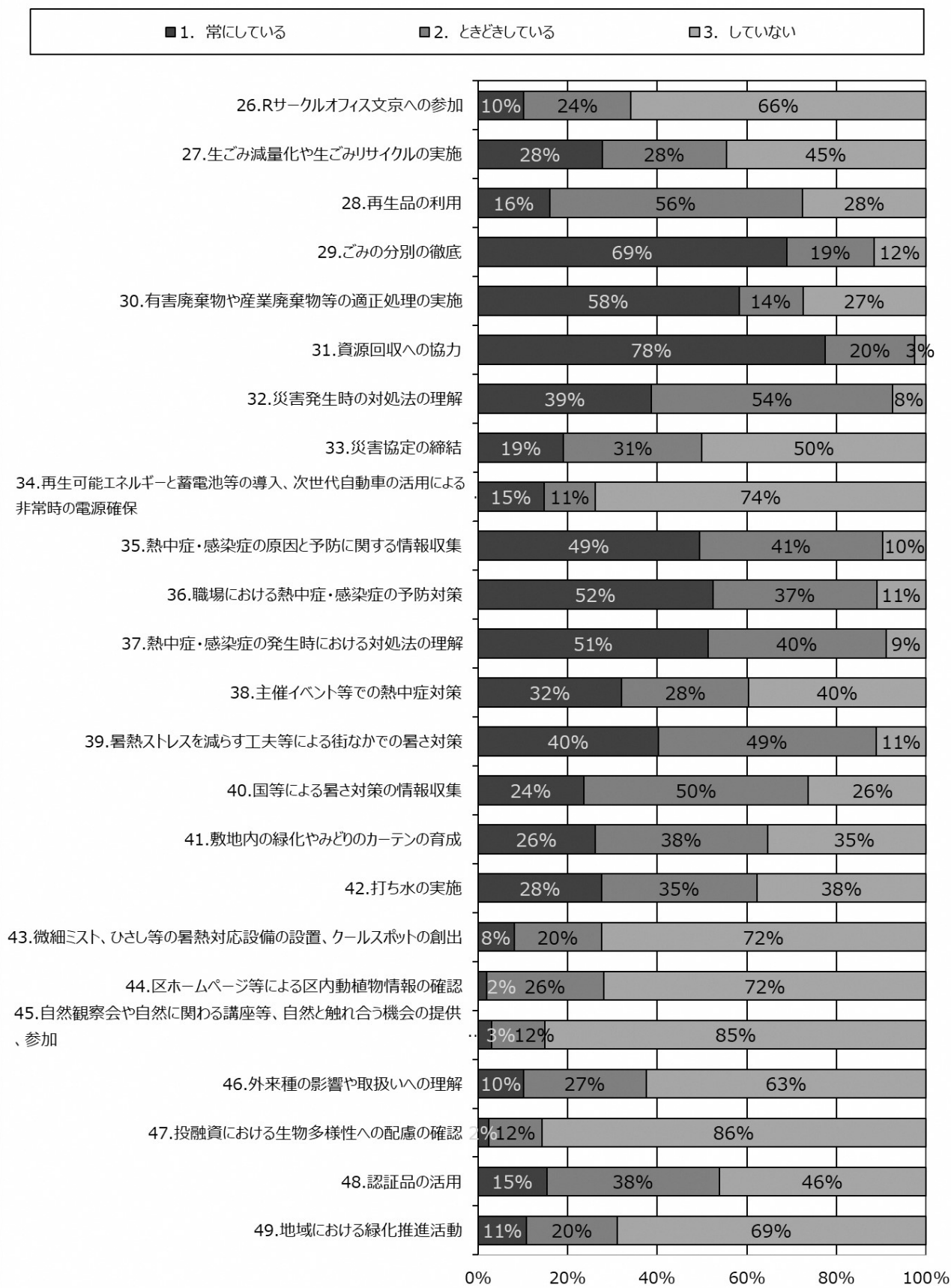
「32.災害発生時の対処法の理解」

「35.熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集」

「37.熱中症・感染症の発生時における対処法の理解」

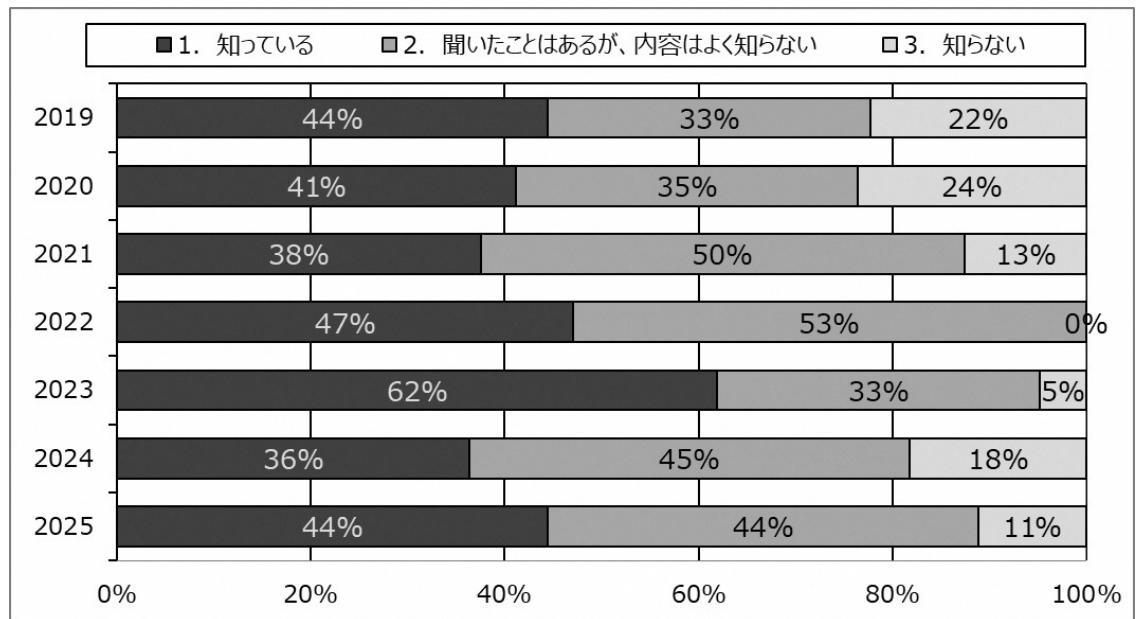
«中小規模 実施状況»1/2



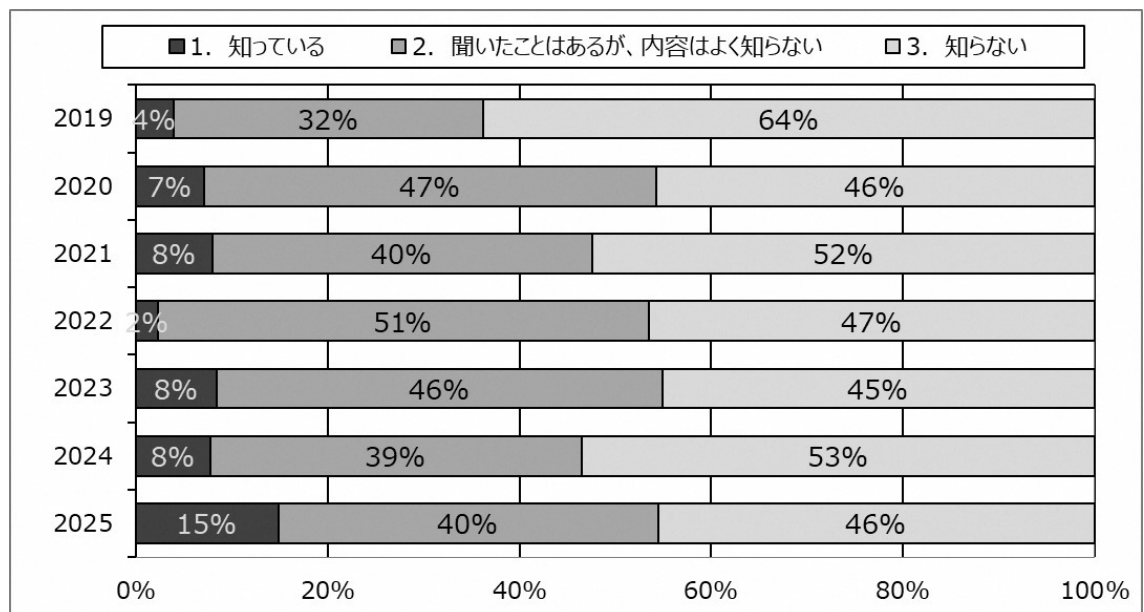


(2) 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の認知度

大規模事業者では、「知っている」の割合が 4 割程度と認知度はやや低いものの、前年度から認知度が増加している。

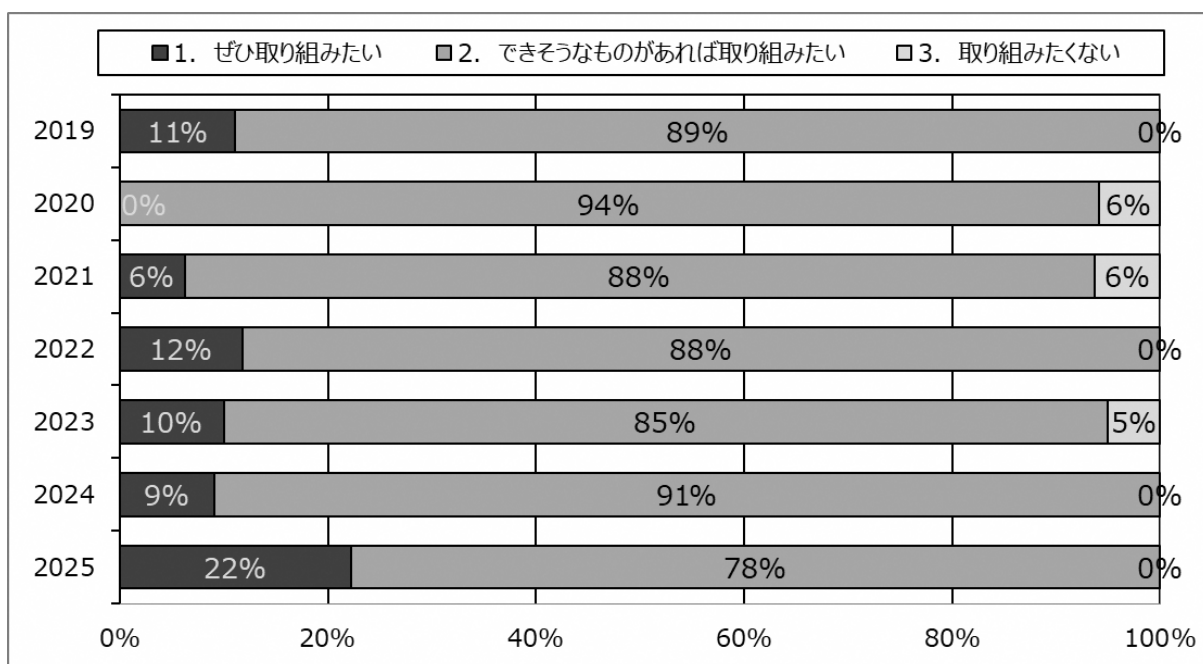


中小規模事業者では、「知っている」の割合が 2 割未満と認知度は低いものの、前年度から認知度が増加している。

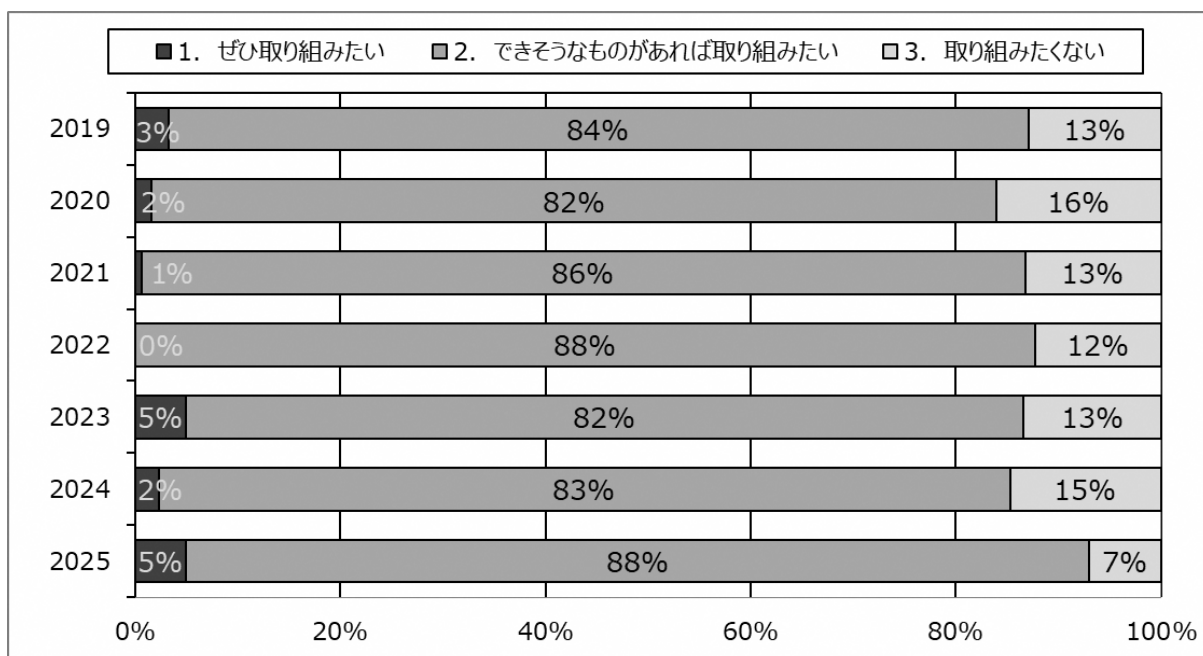


(3) 地球温暖化対策の行動（アクションプラン）に関する取組意識

大規模事業者では、「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」の合計が10割と高い。

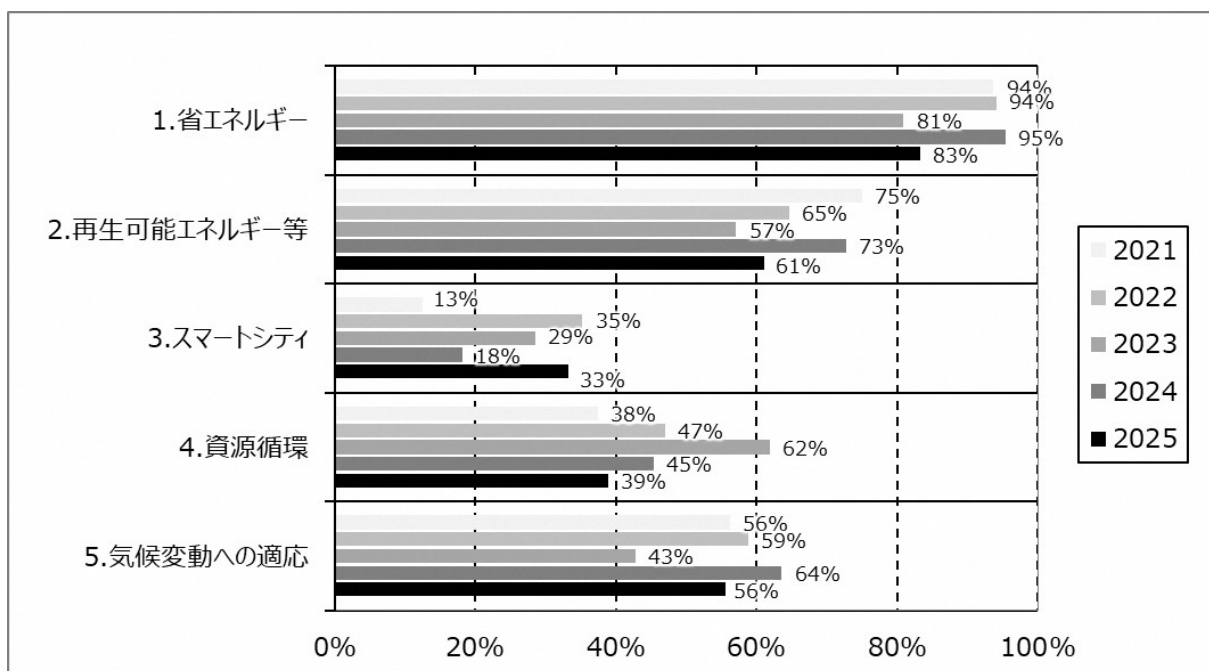


中小規模事業者では、「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」の合計が9割程度と高く、前年度と比較して取組意識はやや増加している。

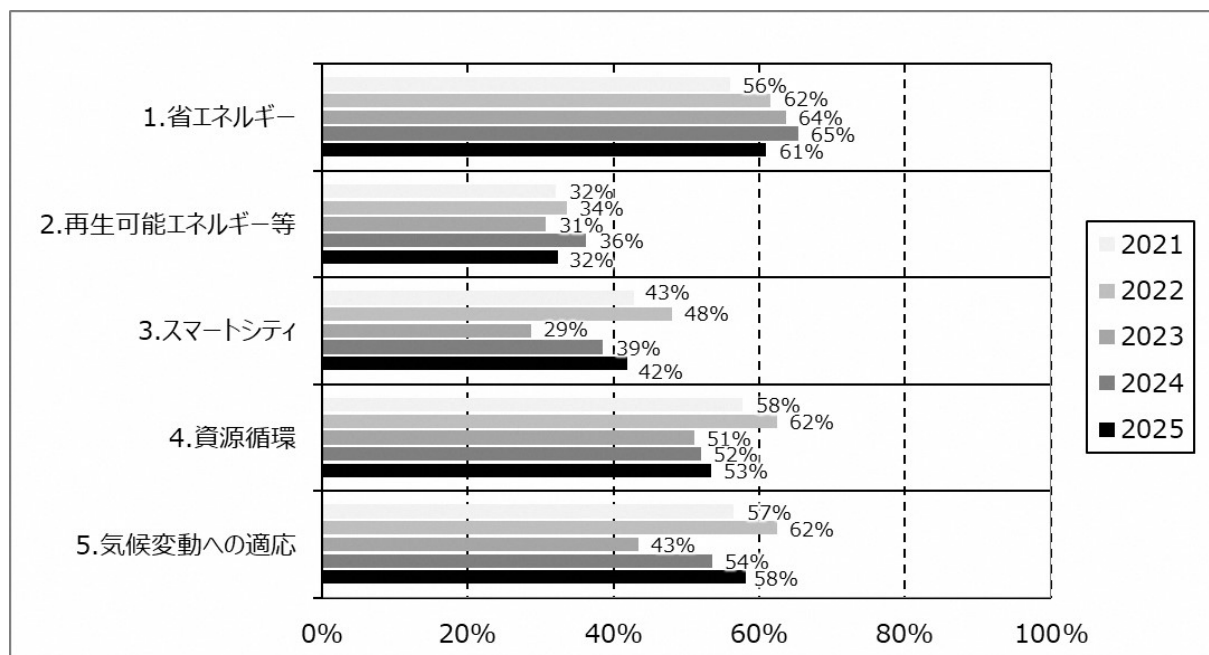


(4) 今後の地球温暖化対策として興味・関心がある分野について

大規模事業者では、「1.省エネルギー」が 8 割以上と最も高く、次いで、「2.再生可能エネルギー等」、「5.気候変動への適応」が 5～6 割程度とやや高いが、「3.スマートシティ」は 3 割程度にとどまっている。

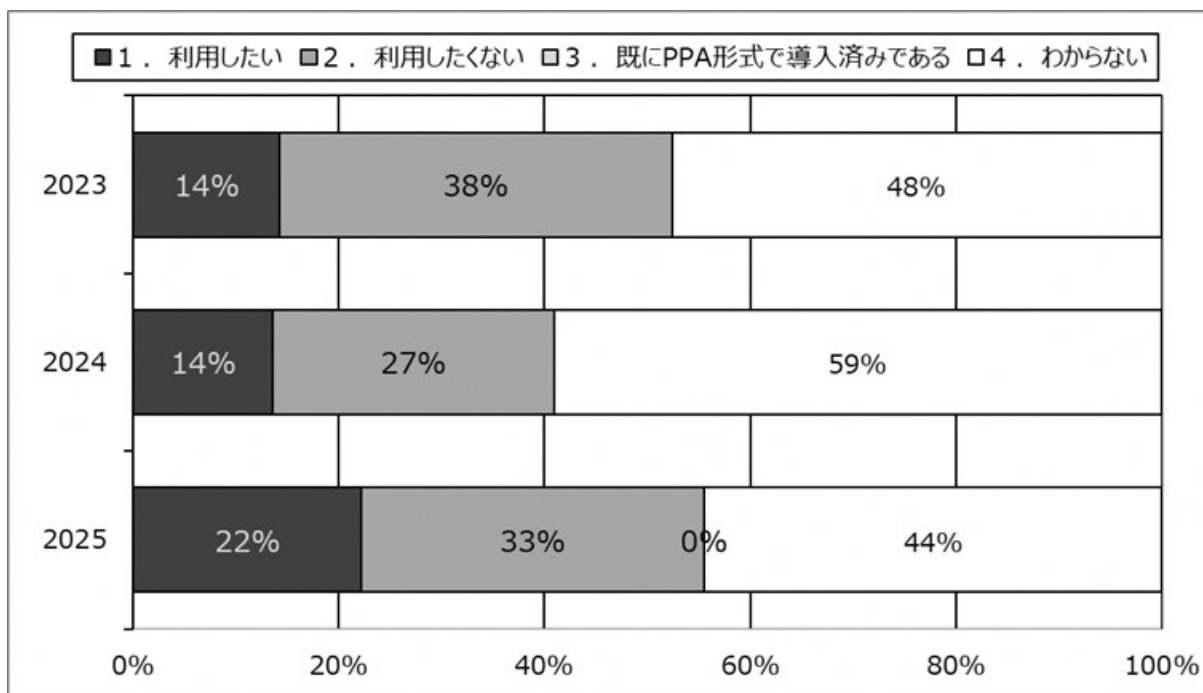


中小規模事業者では、「1.省エネルギー」の割合が 6 割以上と最も高く、次いで、「5.気候変動への適応」、「4.資源循環」は 5～6 割程度にとどまり、そのほかの項目は 3～4 割程度とやや低い。

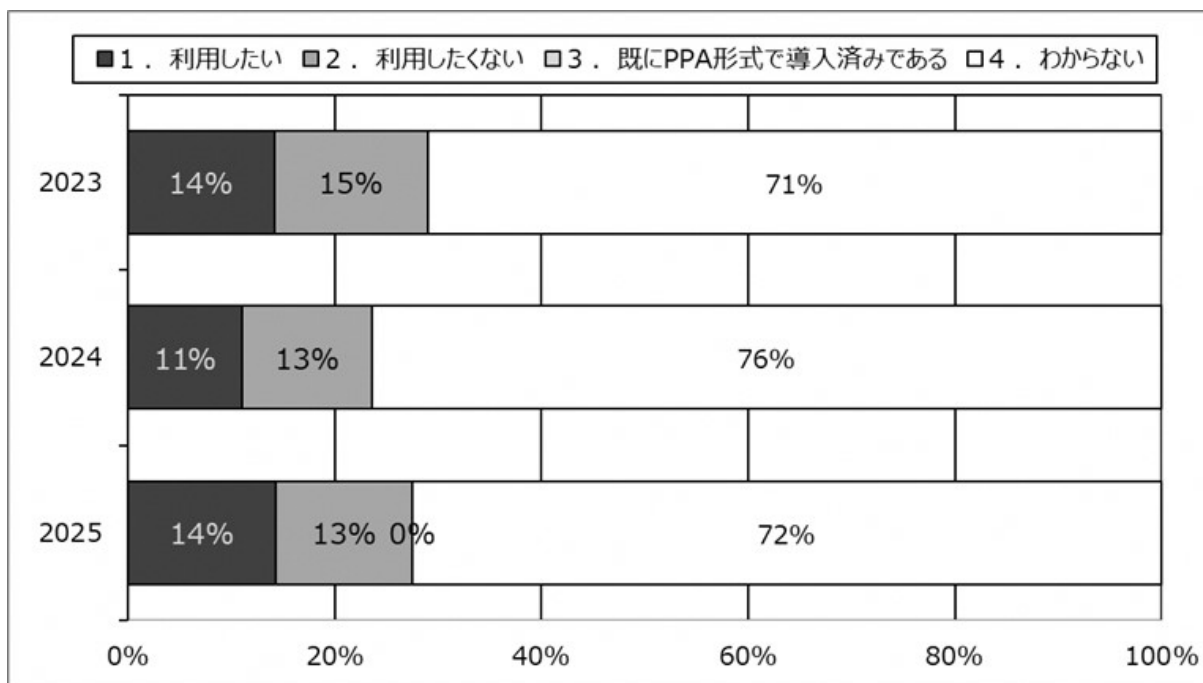


(5) 太陽光発電設備を設置する際の「PPA」の利用について

大規模事業者では、「利用したい」は2割と前年度と比較してやや増加している。



中小規模事業者では、「利用したい」は前年度と同程度の2割未満である。



5.3 団体

(1) 地球温暖化対策に関する行動

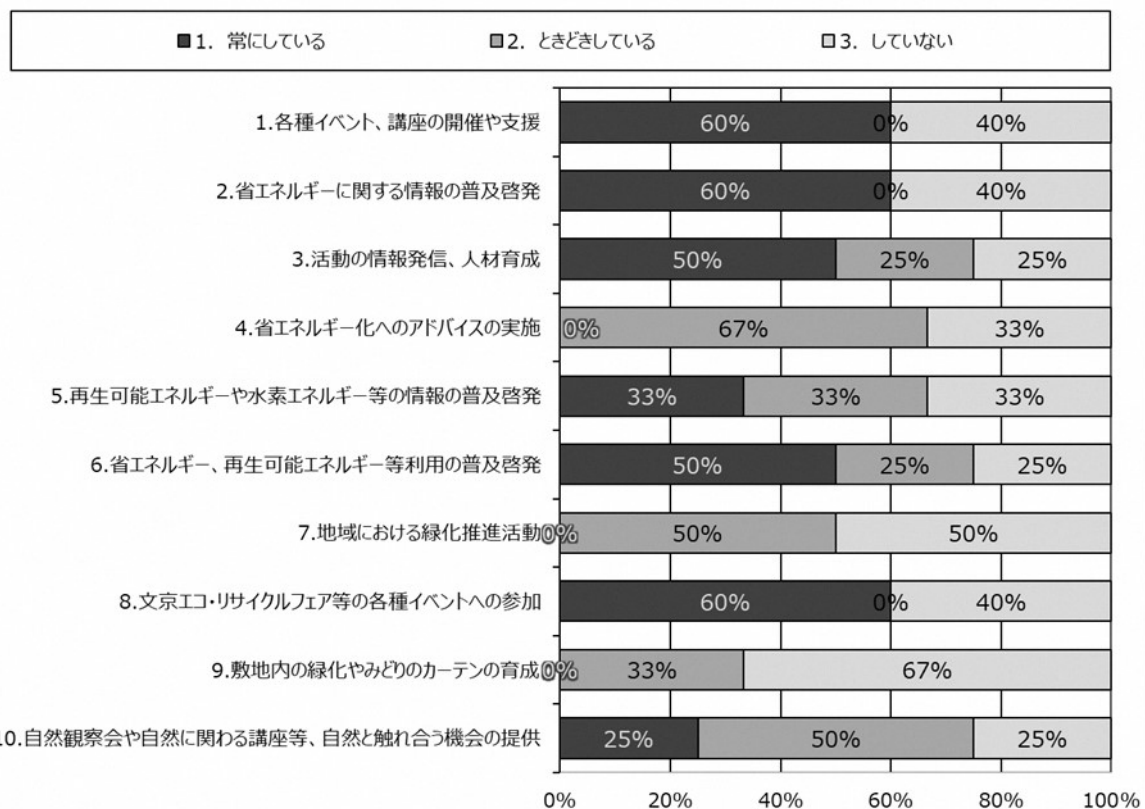
実施率（「常に行っている」、「時々している」の合計）について、7割を超えているものが、下記の3項目となっている。

「3.活動の情報発信、人材育成」

「6.省エネルギー、再生可能エネルギー等利用の普及啓発」

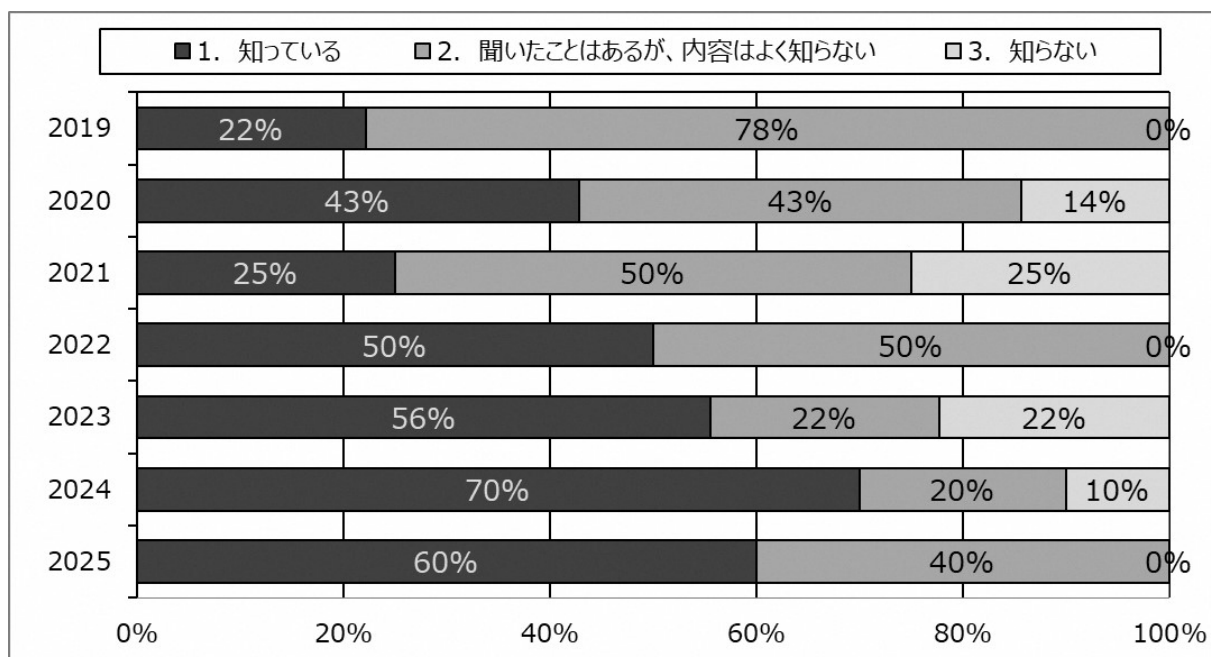
「10.自然観察会や自然に関わる講座等、自然と触れ合う機会の提供」

「団体 実施状況」



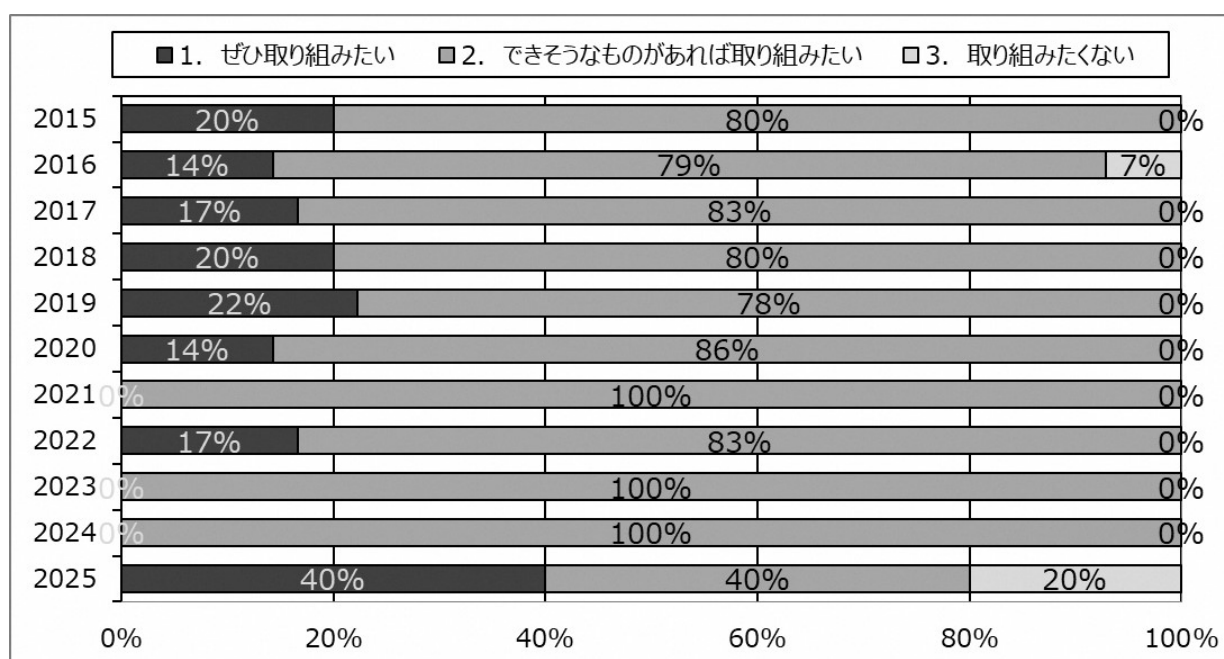
(2) 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の認知度

「知っている」の割合は 6 割と認知度はやや高く、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を加えた認知度は 10 割と高い。一方で、「知っている」の割合は前年度から減少している。



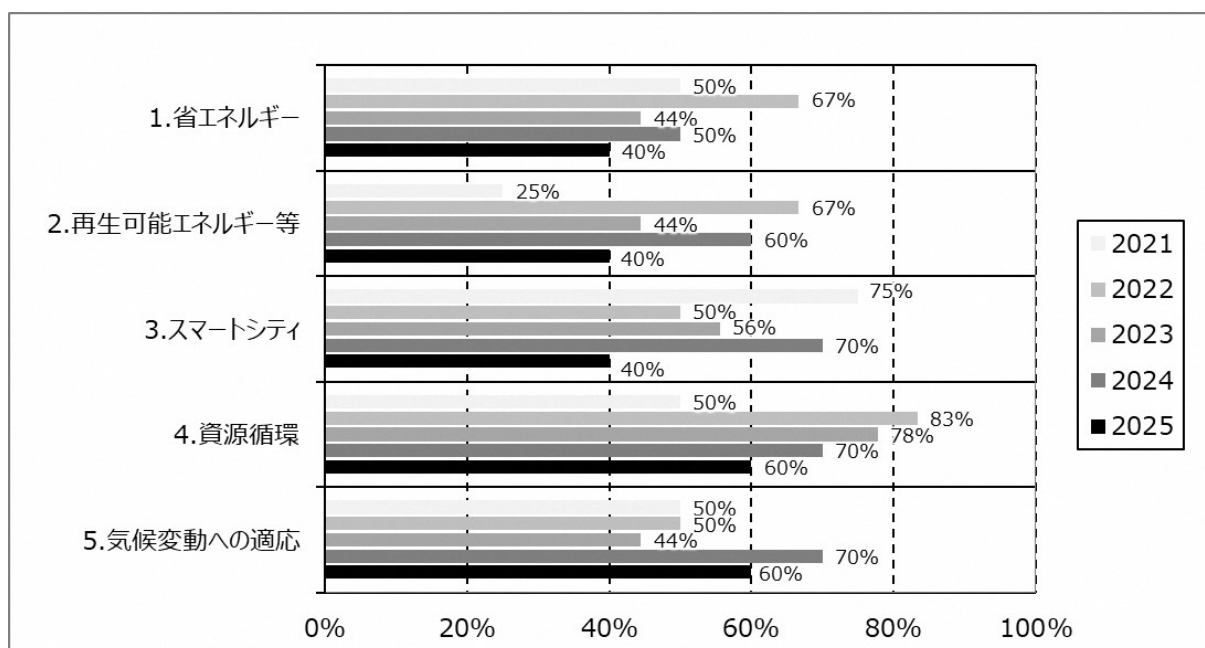
(3) 地球温暖化対策の行動（アクションプラン）に関する取組意識

「ぜひ取り組みたい」の割合は、4 割と前年度より増加している。「ぜひ取り組みたい」と「できそうなものがあれば取り組みたい」の合計は 8 割と高い。



(4) 今後の地球温暖化対策として興味・関心がある分野について

「4 資源循環」「5.気候変動への適応」の割合が6割と最も高く、次いで「1.省エネルギー」「2.再生可能エネルギー等」「3.スマートシティ」が4割となっている。



(5) 太陽光発電設備を設置する際の「PPA」の利用について

「利用したい」は0割であり、前年度より減少している。「利用したくない」は2割で、「わからない」は8割となっている。

